

| 科目名 | 科目担当代表教員 | ページ数 |
|-----------------------|----------|------|
| Writing I <A段階> | 佐藤 郁子 | 2 |
| Writing I <B段階> | 岡迫 晃 | 5 |
| 博物館情報・メディア論 | 劉 高力 | 8 |
| 情報セキュリティ2 | 戸崎 肇 | 11 |
| Basic English2 | 岡迫 晃 | 14 |
| 情報とメディア | 戸崎 肇 | 17 |
| 北洋大学の「社会人学」 | 西川 祥一 | 20 |
| 日本文化概論 | 長谷 仁美 | 23 |
| 地方行政論 | 山田 利一 | 26 |
| 機械学習とAI | 村本 充 | 29 |
| 先住民学 | 劉 高力 | 32 |
| 北海道歴史文化論 | 武田 正哉 | 35 |
| 北海道の自然と食文化 | 村田 まり子 | 38 |
| 日本歴史文化論 | 長谷 仁美 | 41 |
| 英語で学ぶ日本 | 岡迫 晃 | 44 |
| マルチメディアとWeb技術 | 戸崎 肇 | 47 |
| 自治行政 | 山田 利一 | 50 |
| 国際社会概論 | 乗松 優 | 53 |
| 家族社会学 | 香山 リカ | 56 |
| Intensive Reading III | 岡迫 晃 | 59 |
| アイヌ文化論 | 劉 高力 | 62 |
| 日本食文化論 | 村田 まり子 | 65 |
| 北海道地方史 | 武田 正哉 | 68 |
| 卒業研究 | 植田 尚樹 | 71 |
| 専門ゼミナールⅢ | 岡迫 晃 | 74 |
| 専門ゼミナール3 | 岡迫 晃 | 77 |
| 実践型インターンシップ I | 西川 祥一 | 80 |
| インターンシップA | 西川 祥一 | 83 |
| 総合講座A | 福本 達也 | 86 |
| 博物館情報・メディア論 | 劉 高力 | 89 |
| 総合英語B | 岡迫 晃 | 92 |
| 日本語教育実習 I | 藤田 航輝 | 95 |
| 日本語教育実習 II | 奥村 訓代 | 99 |

2023 北洋大学

| | | | | | | | |
|-------|-----|-----------------|--|------|----------|------|----|
| 学部・学科 | | 国際文化学部 キャリア創造学科 | | | | | |
| 区分 | | 専門科目 言語文化 | | | | | |
| 科目名 | | Writing I <A段階> | | | | | |
| 対象 | 全学年 | 開講期 | | 開講学期 | 2023年春学期 | 履修要件 | 選択 |
| 種類 | 講義 | 時間数 | | 単位 | 2 | 授業回数 | 15 |
| クラス | | 教室 | | 担当教員 | 佐藤 郁子 | | |

到達目標

英語の基本的な語彙を使って、言いたいことを自由に表現できるように英語力を養成する。イラストを見ながら、場面に合った英語を覚え、基本的な動詞、前置詞、副詞などの特性を理解するために基本的な文法を説明する。複数の英文形式提示することで、多様な表現を学習する。

講義内容

第1課:一語一句文、第2課:一er、第3課:一ing、第4課:一ed、第5課:be+形容詞、第6課:in(to) out(of)、第7課:on とoff とat、第8課:have、第9課:go、第10課:come、第11課:put、第12課:take、第13課:give、第14課:get、第15課:make

備考

テキストを購入しなければ履修出来ません。テキストの問題を解くために、辞書、文法書を使用します。

授業計画

| | |
|-----|--|
| 第1回 | テキストの構成及び進度の説明。第1課:一語一句文から始めます。1~8聞き慣れた文や短い文を参考にしてして英文を作成します。Dialogue で英語を聴き取り、場面を想像し、内容を理解します。発展問題を解きます。第1課の内容理解状況を小テストで確認します。 |
| 第2回 | 第2課:一er では英語にer が付いた場合の意味変化や働きを名詞や形容詞中心に説明します。1~8までの例文を参考に英文を作成します。Dialogue で英語を聴き取り、場面を想像し、内容を理解します。発展問題を解きます。第2課の内容理解状況を小テストで確認します。 |
| 第3回 | 第3課:一ing では英語にing が付いた場合の意味変化や働きを動詞を中心に説明します。1~8までの例文を参考に英文を作成します。Dialogue で英語を聴き取り、場面を想像し、内容を理解します。発展問題を解きます。第3課の内容理解状況を小テストで確認します。 |
| 第4回 | 第4課:一ed では英語に ed が付いた場合の意味変化や働きを動詞、特に時制変化や形容詞化を中心に説明します。不規則変化の再確認など復習事項を覚えます。1~8までの例文を参考に英文を作成します。Dialogue で英語を聴き取り、場面を想像し、内容を理解します。発展問題を解きます。第4課の内容理解状況を小テストで確認します。 |
| 第5回 | 第5課:be+形容詞 では形容詞の働きや変化をbe 動詞と組み合わせながら説明します。1~8までの例文を参考に英文を作成します。Dialogue で英語を聴き取り、場面を想像し、内容を理解します。発展問題を解きます。第5課の内容理解状況を小テストで確認します。 |
| 第6回 | 第6課:in(to) out(of) では前置詞の働きや種類、意味を中心に説明します。1~8までの例文を参考に英文を作成します。Dialogue で英語を聴き取り、場面を想像し、内容を理解します。発展問題を解きます。第6課の内容理解状況を小テストで確認します。 |

2023 北洋大学

| | |
|--|--|
| 学部・学科 | 国際文化学部 キャリア創造学科 |
| 区分 | 専門科目 言語文化 |
| 科目名 | Writing I <A段階> |
| 第7回 | 第7課: on と off と at では基本的な使い方や時間、場所、位置の場合の特性を中心に説明します。1～8までの例文を参考に英文を作成します。Dialogue で英語を聴き取り、場面を想像し、内容を理解します。発展問題を解きます。第7課の内容理解状況を小テストで確認します。 |
| 第8回 | 第8課: have では特徴的な使い方や様々な表現を中心に説明します。1～8までの例文を参考に英文を作成します。Dialogue で英語を聴き取り、場面を想像し、内容を理解します。発展問題を解きます。第8課の内容理解状況を小テストで確認します。 |
| 第9回 | 第9課: go では動き(移動を開始)や状況を become と合わせて説明します。1～8までの例文を参考に英文を作成します。Dialogue で英語を聴き取り、場面を想像し、内容を理解します。発展問題を解きます。第9課の内容理解状況を小テストで確認します。 |
| 第10回 | 第10課: come では動き(来る)や前置詞の組み合わせを中心に説明します。1～8までの例文を参考に英文を作成します。Dialogue で英語を聴き取り、場面を想像し、内容を理解します。発展問題を解きます。第10課の内容理解状況を小テストで確認します。 |
| 第11回 | 第11課: put では働きや動きに関する使い方を中心に説明します。1～8までの例文を参考に英文を作成します。Dialogue で英語を聴き取り、場面を想像し、内容を理解します。発展問題を解きます。第11課の内容理解状況を小テストで確認します。 |
| 第12回 | 第12課: take では基本的な意味や行動に関する使い方を中心に説明します。1～8までの例文を参考に英文を作成します。Dialogue で英語を聴き取り、場面を想像し、内容を理解します。発展問題を解きます。第12課の内容理解状況を小テストで確認します。 |
| 第13回 | 第13課: give では基本的な意味や目的語になる働きを中心に説明します。1～8までの例文を参考に英文を作成します。Dialogue で英語を聴き取り、場面を想像し、内容を理解します。発展問題を解きます。第13課の内容理解状況を小テストで確認します。 |
| 第14回 | 第14課: get では本来の意味や様々な変化、動作を表す使い方を中心に説明します。1～8までの例文を参考に英文を作成します。Dialogue で英語を聴き取り、場面を想像し、内容を理解します。発展問題を解きます。第14課の内容理解状況を小テストで確認します。 |
| 第15回 | 第15課: make では基本的な意味や前置詞の組み合わせによる働きを中心に説明します。1～8までの例文を参考に英文を作成します。Dialogue で英語を聴き取り、場面を想像し、内容を理解します。発展問題を解きます。第15課の内容理解状況を小テストで確認します。 |
| 成績評価の方法 | |
| 授業履修態度及び予習状況(35%)、課題(15%)、試験(50%) (筆記かレポートのいずれか) | |
| 受講登録以前に準備すること | |
| 英作文をする際の苦手箇所を確認する。自分にあった暗記方法を見つける。 | |

2023 北洋大学

| | |
|--|-----------------|
| 学部・学科 | 国際文化学部 キャリア創造学科 |
| 区分 | 専門科目 言語文化 |
| 科目名 | Writing I <A段階> |
| 授業の方法 | |
| 各課とも構成に沿って語彙、英文法など基礎的であり重要な事項を説明をします。問題に解答し、学生による発表で確認しながら、覚えることに集中します。理解度を測るために「小テスト」を行います。 | |
| テキスト | |
| 鳥飼慎一郎 Putting Core English Words unto Action 朝日出版社 2019 | |

2023 北洋大学

| | | | | | | | |
|-------|-----|-----------------|--|------|----------|------|----|
| 学部・学科 | | 国際文化学部 キャリア創造学科 | | | | | |
| 区分 | | 専門科目 言語文化 | | | | | |
| 科目名 | | Writing I <B段階> | | | | | |
| 対象 | 全学年 | 開講期 | | 開講学期 | 2023年春学期 | 履修要件 | 選択 |
| 種類 | 講義 | 時間数 | | 単位 | 2 | 授業回数 | 15 |
| クラス | | 教室 | | 担当教員 | 岡迫 晃 | | |

到達目標

英語の特に作文力(会話力を含む)を苦手とする学生が英語の簡単な文が書ける(話せる)ようになることを目標とします。

講義内容

(正確な)正しい英文を書くために英文法の基本事項を確実に定着させながら英文を書いていくトレーニングをしていきます。

備考

授業計画

| | |
|-----|-------------------------|
| 第1回 | 現在形－Be動詞 主語の基本的な固定の仕方 |
| 第2回 | 現在形－一般動詞 動作・常態・進行の表わし方 |
| 第3回 | 疑問視－7W1H尋ねる表現 |
| 第4回 | 過去形－過去における出来事の表わし方 |
| 第5回 | 未来形－未来における出来事の表わし方 |
| 第6回 | 現在完了形－過去から現在に及ぶ出来事の表わし方 |

2023 北洋大学

| | |
|--|----------------------------|
| 学部・学科 | 国際文化学部 キャリア創造学科 |
| 区分 | 専門科目 言語文化 |
| 科目名 | Writing I <B段階> |
| 第7回 | 助動詞ー動作に話し手の気持ちを添える表現 |
| 第8回 | 名詞、冠詞ー物の数え方・限定の仕方 |
| 第9回 | 受動態ー動作主を抑えた表現 |
| 第10回 | 前置詞ー時間・場所・状態の表現 |
| 第11回 | 形容詞、副詞ー物の性質と動作の修飾の仕方 |
| 第12回 | 比較級ー優先程度の表わし方 |
| 第13回 | 不定詞、動名詞ー動詞をコト化する表現 |
| 第14回 | 接続詞、命令文ー情報の繋ぎ方・動作の進め方 |
| 第15回 | 関係詞、仮定法ー後置節による修飾・仮想現実の表わし方 |
| 成績評価の方法 | |
| 授業内での参加度、予習状況 30% 小テスト 20% 筆記試験 50% の総合的判断で評価します。 | |
| 受講登録以前に準備すること | |
| テキスト、電子辞書(スマホ不可)又は英和辞書(紙) | |

2023 北洋大学

| | |
|--|-----------------|
| 学部・学科 | 国際文化学部 キャリア創造学科 |
| 区分 | 専門科目 言語文化 |
| 科目名 | Writing I <B段階> |
| 授業の方法 | |
| この授業は予習を必要とします。テキストの練習問題は各種資格試験に対応した適語選択、並び替え等の4つの形式からなっています。(毎回)授業に予習をして臨んでもらいます。そして授業の終わりに英作文を提出してもらいます。又毎回小テストを実施します。 | |
| テキスト | |
| Essentiel English Grammar Skills for College Students 朝日出版 1320円 | |

2017 北洋大学

| | | | | | | | |
|---|---|-----------------------|--|------|----------|------|----|
| 2017 北洋大学 | | | | | | | |
| 学部・学科 | | 国際文化学部 キャリア創造学科 | | | | | |
| 区分 | | 学芸員(令和2(2020)年以前) 学芸員 | | | | | |
| 科目名 | | 博物館情報・メディア論 | | | | | |
| 対象 | 全学年 | 開講期 | | 開講学期 | 2023年春学期 | 履修要件 | 必修 |
| 種類 | 講義 | 時間数 | | 単位 | 2 | 授業回数 | 15 |
| クラス | | 教室 | | 担当教員 | 劉 高力 | | |
| 到達目標 | | | | | | | |
| <p>博物館における情報・メディアの意義・位置・多様性を把握する。 博物館で活用可能な情報通信技術ICT(Information and Communication Technology)の状況把握、収蔵資料のデジタル化、バーチャル展示について学ぶ 展示・広報を含む多様な博物館の情報発信を理解する。 課題、知的財産権等についての基礎的知識を得る。</p> | | | | | | | |
| 講義内容 | | | | | | | |
| <p>博物館の展示、資料保存、発信には、メディアが欠かせない。 博物館情報・メディアとは何か、その基本知識と実践の運用について学ぶ。 講義と実際の見学を行い、学芸員としての基本的な知識を身につける。</p> | | | | | | | |
| 備考 | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 第1回 | 講義全体の紹介「博物館情報・メディア論」の説明等。 | | | | | | |
| 第2回 | 博物館における情報・メディアの理論、意義、博物館活動の情報化(視聴覚メディアの理論と歴史、調査研究、展示・教育活動等) 博物館における情報発信と機器の紹介、映像理論、博物館メディアの役割 | | | | | | |
| 第3回 | 博物館における情報・メディアの理論、意義、博物館活動の情報化(視聴覚メディアの理論と歴史、調査研究、展示・教育活動等) 博物館における情報発信と機器の紹介、映像理論、博物館メディアの役割 | | | | | | |
| 第4回 | 映像博物館見学、現地で映像機器を触ってみる。映像発信の沿革を受講。 | | | | | | |
| 第5回 | 映像博物館見学、現地で映像機器を触ってみる。映像発信の沿革を受講。 | | | | | | |
| 第6回 | 映像博物館見学、現地で映像機器を触ってみる。映像発信の沿革を受講。 | | | | | | |

2017 北洋大学

| | |
|---------------------------|---|
| 学部・学科 | 国際文化学部 キャリア創造学科 |
| 区分 | 学芸員(令和2(2020)年以前) 学芸員 |
| 科目名 | 博物館情報・メディア論 |
| 第7回 | 映像博物館見学、現地で映像機器に触ってみる。映像発信の沿革を受講。 |
| 第8回 | ICT社会の中の博物館、資料のアーカイブズ・デジタルアーカイブ、情報機器の活用、バーチャル博物館など新たなメディア経験技術、博物館と知的財産。著作権、二次利用等。 |
| 第9回 | ICT社会の中の博物館、資料のアーカイブズ・デジタルアーカイブ、情報機器の活用、バーチャル博物館など新たなメディア経験技術、博物館と知的財産。著作権、二次利用等。 |
| 第10回 | ICT社会の中の博物館、資料のアーカイブズ・デジタルアーカイブ、情報機器の活用、バーチャル博物館など新たなメディア経験技術、博物館と知的財産。著作権、二次利用等。 |
| 第11回 | 新たなメディアを運用する博物館での見学、博物館研究者の話を聴きながら、デジタル技術を用いた資料展示、実際の博物館活動の中で遭遇する著作権に関する事柄を学ぶ。 |
| 第12回 | 新たなメディアを運用する博物館での見学、博物館研究者の話を聴きながら、デジタル技術を用いた資料展示、実際の博物館活動の中で遭遇する著作権に関する事柄を学ぶ。 |
| 第13回 | 新たなメディアを運用する博物館での見学、博物館研究者の話を聴きながら、デジタル技術を用いた資料展示、実際の博物館活動の中で遭遇する著作権に関する事柄を学ぶ。 |
| 第14回 | 新たなメディアを運用する博物館での見学、博物館研究者の話を聴きながら、デジタル技術を用いた資料展示、実際の博物館活動の中で遭遇する著作権に関する事柄を学ぶ。 |
| 第15回 | 新たなメディアを運用する博物館での見学、博物館研究者の話を聴きながら、デジタル技術を用いた資料展示、実際の博物館活動の中で遭遇する著作権に関する事柄を学ぶ。 |
| 成績評価の方法 | |
| 授業内の参加度(40%)期末テスト小論文(60%) | |
| 受講登録以前に準備すること | |
| | |

2017 北洋大学

| | |
|-------------|-----------------------|
| 学部・学科 | 国際文化学部 キャリア創造学科 |
| 区分 | 学芸員(令和2(2020)年以前) 学芸員 |
| 科目名 | 博物館情報・メディア論 |
| 授業の方法 | |
| 講義と見学が同時に行う | |
| テキスト | |
| | |

2017 北洋大学

| | | | | | | | |
|---|--------------------------|-----------------|--|------|----------|------|----|
| 2017 北洋大学 | | | | | | | |
| 学部・学科 | | 国際文化学部 キャリア創造学科 | | | | | |
| 区分 | | 一般教育科目 情報 | | | | | |
| 科目名 | | 情報セキュリティ2 | | | | | |
| 対象 | 2年、3年、4年 | 開講期 | | 開講学期 | 2023年春学期 | 履修要件 | 選択 |
| 種類 | 講義 | 時間数 | | 単位 | 2 | 授業回数 | 15 |
| クラス | | 教室 | | 担当教員 | 戸崎 肇 | | |
| 到達目標 | | | | | | | |
| <p>メディアの役割を、自覚的、批判的に理解する。 新聞、放送、ソーシャルメディア、広告など時代のメディア状況を把握できる。 ソーシャルメディアの現状、課題を理解し、将来像を提案できる。</p> | | | | | | | |
| 講義内容 | | | | | | | |
| <p>「メディアとは何ですか」と聞かれると、みなさんはTwitterとかInstagramなどのソーシャルメディアを真っ先に思い浮かべるかもしれませんが。 いまやオールドメディアとまで揶揄される新聞、テレビ、ラジオが、ジャーナリズムのど真ん中にいたこともありました。本講義では、現代社会の中でメディアの位置づけ、各媒体の現状などを学び、メディア状況を概観し、将来を考えていきます。</p> | | | | | | | |
| 備考 | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 第1回 | オリエンテーション なぜメディアを学ぶのか | | | | | | |
| 第2回 | 新聞① 国内の新聞社 | | | | | | |
| 第3回 | 新聞② 新聞社の経営と読者の変化 | | | | | | |
| 第4回 | 放送① 放送制度 | | | | | | |
| 第5回 | 放送② テレビとニュース | | | | | | |
| 第6回 | 出版 書籍と雑誌の変化 | | | | | | |

2017 北洋大学

| | |
|-------|-----------------|
| 学部・学科 | 国際文化学部 キャリア創造学科 |
| 区分 | 一般教育科目 情報 |
| 科目名 | 情報セキュリティ2 |
| 第7回 | インターネット① |
| 第8回 | インターネット② |
| 第9回 | 広告① 業界の概要 |
| 第10回 | 広告② 広告とマーケティング |
| 第11回 | 携帯からスマホ |
| 第12回 | ネットメディア① |
| 第13回 | ネットメディア② |
| 第14回 | メディアリテラシー |
| 第15回 | まとめ |

成績評価の方法

発表の内容、授業への参加意欲、論議への参加を考慮する。後半にテーマを提示し、レポートを提出してもらう。
出席回数、授業への貢献度(50%)、レポートの評価(50%)

受講登録以前に準備すること

2017 北洋大学

| | |
|--|-----------------|
| 学部・学科 | 国際文化学部 キャリア創造学科 |
| 区分 | 一般教育科目 情報 |
| 科目名 | 情報セキュリティ2 |
| 授業の方法 | |
| オンラインによる授業 毎回担当を決め、テキストを元にパワポによるレジュメを発表をしてもらい、発表者への質問、各テーマについての議論を深めます。 | |
| テキスト | |
| | |

2017 北洋大学

| | | | | | | | |
|---|-------------------------------------|-----------------|--|------|----------|------|----|
| 2017 北洋大学 | | | | | | | |
| 学部・学科 | | 国際文化学部 キャリア創造学科 | | | | | |
| 区分 | | 一般教育科目 言語 | | | | | |
| 科目名 | | Basic English2 | | | | | |
| 対象 | 全学年 | 開講期 | | 開講学期 | 2023年春学期 | 履修要件 | 選択 |
| 種類 | 講義 | 時間数 | | 単位 | 1 | 授業回数 | 15 |
| クラス | | 教室 | | 担当教員 | 岡迫 晃 | | |
| 到達目標 | | | | | | | |
| 英語の特に読解力を苦手とする学生が、比較的短めの英語の文章、メールが読めるようになることを目標とします。 | | | | | | | |
| 講義内容 | | | | | | | |
| テキストの購読の内容は主にニューヨークの旅行会社でインターンシップをすることになった大学生の話です。仕事で使う簡単な英語表現やアメリカ文化を学びながら読解力を身につけていきます。 | | | | | | | |
| 備考 | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 第1回 | Welcome to the "Pig Apple" 現在形 | | | | | | |
| 第2回 | What's the Boss Like? 代名詞 | | | | | | |
| 第3回 | Masa's First Day on the Job 前置詞 | | | | | | |
| 第4回 | Summer Fun 過去形 | | | | | | |
| 第5回 | Hotel Guest Satisfaction 加算名詞・不可算名詞 | | | | | | |
| 第6回 | Brainstorming 進行形 | | | | | | |

2017 北洋大学

| | |
|-------|-------------------------------------|
| 学部・学科 | 国際文化学部 キャリア創造学科 |
| 区分 | 一般教育科目 言語 |
| 科目名 | Basic English2 |
| 第7回 | Glad to Be of Service WH 疑問文 |
| 第8回 | Socializing with Co-Workers 動名詞・不定詞 |
| 第9回 | Vacation Spots 未来形 |
| 第10回 | Sports Talk ! 比較級・最上級 |
| 第11回 | Tour Day 助動詞 |
| 第12回 | Party Time! 現在完了形 |
| 第13回 | office Meeting 関係詞 |
| 第14回 | A Bit of History 受動態 |
| 第15回 | Farewell, Masa and Lucy 接続詞 |

成績評価の方法

授業内での参加度、予習状況 30%
 小テスト 20%
 筆記試験 50%
 の総合的判断で評価します。

受講登録以前に準備すること

テキスト、電子辞書(スマホ不可)又は英和辞書(紙)

2017 北洋大学

| | |
|---|-----------------|
| 学部・学科 | 国際文化学部 キャリア創造学科 |
| 区分 | 一般教育科目 言語 |
| 科目名 | Basic English2 |
| 授業の方法 | |
| この授業は予習を必要とします。毎回会話のリスニング後日本語に訳していきます。又それに付随する練習問題(並び替え、穴埋め等)を解いた後、仕上げに短めの長文読解に移っていきます。又小テストも実施します。 | |
| テキスト | |
| English Missions! Basic 金星堂 2090円 | |

2021 北洋大学

| | | | | | | | |
|--|--------------------------|-----------------|--|------|----------|------|----|
| 2021 北洋大学 | | | | | | | |
| 学部・学科 | | 国際文化学部 キャリア創造学科 | | | | | |
| 区分 | | 一般教育科目 情報 | | | | | |
| 科目名 | | 情報とメディア | | | | | |
| 対象 | 全学年 | 開講期 | | 開講学期 | 2023年春学期 | 履修要件 | 選択 |
| 種類 | 講義 | 時間数 | | 単位 | 2 | 授業回数 | 15 |
| クラス | | 教室 | | 担当教員 | 戸崎 肇 | | |
| 到達目標 | | | | | | | |
| <p>メディアの役割を、自覚的、批判的に理解する。 新聞、放送、ソーシャルメディア、広告など時代のメディア状況を把握できる。 ソーシャルメディアの現状、課題を理解し、将来像を提案できる。</p> | | | | | | | |
| 講義内容 | | | | | | | |
| <p>「メディアとは何ですか」と聞かれると、みなさんはTwitterとかInstagramなどのソーシャルメディアを真っ先に思い浮かべるかもしれませんが。 いまやオールドメディアとまで揶揄される新聞、テレビ、ラジオが、ジャーナリズムのど真ん中にいたこともありました。本講義では、現代社会の中でのメディアの位置づけ、各媒体の現状などを学び、メディア状況を概観し、将来を考えていきます。</p> | | | | | | | |
| 備考 | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 第1回 | オリエンテーション なぜメディアを学ぶのか | | | | | | |
| 第2回 | 新聞① 国内の新聞社 | | | | | | |
| 第3回 | 新聞② 新聞社の経営と読者の変化 | | | | | | |
| 第4回 | 放送① 放送制度 | | | | | | |
| 第5回 | 放送② テレビとニュース | | | | | | |
| 第6回 | 出版 書籍と雑誌の変化 | | | | | | |

2021 北洋大学

| | |
|-------|-----------------|
| 学部・学科 | 国際文化学部 キャリア創造学科 |
| 区分 | 一般教育科目 情報 |
| 科目名 | 情報とメディア |
| 第7回 | インターネット① |
| 第8回 | インターネット② |
| 第9回 | 広告① 業界の概要 |
| 第10回 | 広告② 広告とマーケティング |
| 第11回 | 携帯からスマホ |
| 第12回 | ネットメディア① |
| 第13回 | ネットメディア② |
| 第14回 | メディアリテラシー |
| 第15回 | まとめ |

成績評価の方法

発表の内容、授業への参加意欲、論議への参加を考慮する。後半にテーマを提示し、レポートを提出してもらう。
出席回数、授業への貢献度(50%)、レポートの評価(50%)

受講登録以前に準備すること

2021 北洋大学

| | |
|---|-----------------|
| 学部・学科 | 国際文化学部 キャリア創造学科 |
| 区分 | 一般教育科目 情報 |
| 科目名 | 情報とメディア |
| 授業の方法 | |
| <p>オンラインによる授業 毎回担当を決め、テキストを元にパワポによるレジュメを発表をしてもらい、発表者への質問、各テーマについての議論を深めます。</p> | |
| テキスト | |
| | |

2021 北洋大学

| | | | | | | | |
|--|-----------|-----------------|--|------|-------------|------|----|
| 2021 北洋大学 | | | | | | | |
| 学部・学科 | | 国際文化学部 キャリア創造学科 | | | | | |
| 区分 | | 専門科目 キャリア・情報 | | | | | |
| 科目名 | | 北洋大学の「社会人学」 | | | | | |
| 対象 | 全学年 | 開講期 | | 開講学期 | 2023年春学期 | 履修要件 | 選択 |
| 種類 | 講義 | 時間数 | | 単位 | 2 | 授業回数 | 15 |
| クラス | | 教室 | | 担当教員 | 西川 祥一、福本 達也 | | |
| 到達目標 | | | | | | | |
| <p>1大学教育の中でのインターンシップの位置づけや効果を学び、インターンシップで学ぶ目的を明確にできる。 2自分の適してる業種をみつけ、インターンシップ研修の目的を達成するための行動計画を立てることができる。 3ビジネスマナー、ビジネス文書、メールの書き方やインターンシップに必要なIT技術を習得できる。</p> | | | | | | | |
| 講義内容 | | | | | | | |
| <p>2022年、文科省、厚労省、経産省の三省合意により、インターンシップの結果が、企業側の採用の際に使うことが可能になり、インターンシップが採用試験の一環になる傾向が強まっています。インターンシップの位置づけと教育的効果を理解したうえで、自分自身に合ったインターンシップの目的を各自考えます。就職支援会社の協力を得て、実践的な授業も盛り込みます。 この授業を履修したうえで、「実践型インターンシップⅠ」「実践型インターンシップⅡ」で、実際にインターンシップを経験してもらおうと思います。インターンシップについても困らないノウハウを身に付けてもらいます。</p> | | | | | | | |
| 備考 | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 第1回 | オリエンテーション | | | | | | |
| 第2回 | 自己分析① | | | | | | |
| 第3回 | 自己分析② | | | | | | |
| 第4回 | 自己PR① | | | | | | |
| 第5回 | 自己PR② | | | | | | |
| 第6回 | 業界研究① | | | | | | |

2021 北洋大学

| | |
|-------|-----------------------------|
| 学部・学科 | 国際文化学部 キャリア創造学科 |
| 区分 | 専門科目 キャリア・情報 |
| 科目名 | 北洋大学の「社会人学」 |
| 第7回 | 業界研究② |
| 第8回 | 業界研究③ |
| 第9回 | インターンシップ講座① |
| 第10回 | インターンシップ講座② |
| 第11回 | うちの会社のインターンシップ① |
| 第12回 | うちの会社のインターンシップ② |
| 第13回 | 就職支援サイトを津kあってインターンシップ先企業を選ぶ |
| 第14回 | ビジネスマナー |
| 第15回 | 仕事に役立つパソコンスキル |

成績評価の方法

授業の参加態度(50%)、授業中に行うワークの作成・提出(50%)などにより総合的に評価します。

受講登録以前に準備すること

特にありません。

2021 北洋大学

| | |
|--|-----------------|
| 学部・学科 | 国際文化学部 キャリア創造学科 |
| 区分 | 専門科目 キャリア・情報 |
| 科目名 | 北洋大学の「社会人学」 |
| 授業の方法 | |
| 自己分析や業界研究などは、知識や情報を使える方法ばかりでなく、ワークをしてもらい多角的に理解を深めてもらいます。実際にインターシップを実施している企業に来てもらい、具体的な内容を紹介してもらうなど、参加へのハードルを低くできるような工夫を試みます。 | |
| テキスト | |
| オリジナル資料を配布します。各自、ファイルしてください。 | |

2017 北洋大学

| | | | | | | | |
|---|------------------|-----------------|--|------|----------|------|----|
| 2017 北洋大学 | | | | | | | |
| 学部・学科 | | 国際文化学部 キャリア創造学科 | | | | | |
| 区分 | | 専門科目 異文化教育科目群 | | | | | |
| 科目名 | | 日本文化概論 | | | | | |
| 対象 | 2年、3年、4年 | 開講期 | | 開講学期 | 2023年春学期 | 履修要件 | 選択 |
| 種類 | 講義 | 時間数 | | 単位 | 2 | 授業回数 | 15 |
| クラス | | 教室 | | 担当教員 | 長谷 仁美 | | |
| 到達目標 | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・日本列島北部周辺、とりわけ北海道の先住民族であるアイヌ民族固有の文化および現状に関する基礎的な知識を概括的に把握し、日本の歴史・文化の多様性を理解することができる。 ・多角的な視点で物事を捉える力を養い、文化の多様性について自ら探究することができる。 | | | | | | | |
| 講義内容 | | | | | | | |
| アイヌ民族の現状を概括的に理解した上で、アイヌの伝統的な文化について、生業や生活、風習、世界観等を中心に理解を深める。アイヌ民族の歴史・文化から日本の歴史や文化を探究し、文化の多様性についての理解にまで到達することを目指す。映像資料を利用することで理解の促進を図る。 | | | | | | | |
| 備考 | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 第1回 | 概要 | | | | | | |
| 第2回 | 現代のアイヌ民族・学校教育の実態 | | | | | | |
| 第3回 | アイヌ語・地名 | | | | | | |
| 第4回 | 衣服文化 | | | | | | |
| 第5回 | 食文化1 | | | | | | |
| 第6回 | 食文化2 DVD | | | | | | |

2017 北洋大学

| | |
|----------------------|-----------------|
| 学部・学科 | 国際文化学部 キャリア創造学科 |
| 区分 | 専門科目 異文化教育科目群 |
| 科目名 | 日本文化概論 |
| 第7回 | 住居 |
| 第8回 | 狩猟 |
| 第9回 | 世界観 |
| 第10回 | 儀礼・先祖供養 |
| 第11回 | 芸能 |
| 第12回 | 口承文芸 |
| 第13回 | 伝承からみる動植物1 |
| 第14回 | 伝承からみる動植物2 |
| 第15回 | 全体のまとめ |
| 成績評価の方法 | |
| レポート、随時提出の課題内容により評価。 | |
| 受講登録以前に準備すること | |
| | |

2017 北洋大学

| | |
|-----------------------|-----------------|
| 学部・学科 | 国際文化学部 キャリア創造学科 |
| 区分 | 専門科目 異文化教育科目群 |
| 科目名 | 日本文化概論 |
| 授業の方法 | |
| | |
| テキスト | |
| 適宜プリントを配布。参考書は随時紹介する。 | |

2021 北洋大学

| | | | | | | | |
|-------|----------|-----------------|--|------|----------|------|----|
| 学部・学科 | | 国際文化学部 キャリア創造学科 | | | | | |
| 区分 | | 専門科目 キャリア・情報 | | | | | |
| 科目名 | | 地方行政論 | | | | | |
| 対象 | 2年、3年、4年 | 開講期 | | 開講学期 | 2023年春学期 | 履修要件 | 選択 |
| 種類 | 講義 | 時間数 | | 単位 | 2 | 授業回数 | 15 |
| クラス | | 教室 | | 担当教員 | 山田 利一 | | |

到達目標

- ・地方自治体の組織と行政の業務内容について理解する。
- ・地方自治体が抱える課題と解決方法について考える。

講義内容

本講義では、様々な分野によって構成されている地方行政・地方自治の現状を、市職員を講師に、実務者の観点から概説し、より身近にある自治について触れていきます。
また、地方行政で行われている業務や、地方自治体が抱えている諸問題など、実務者の経験に基づき考えていきます。

備考

キャリア・情報、実務家教員による科目

授業計画

| | |
|-----|-----------|
| 第1回 | オリエンテーション |
| 第2回 | 苫小牧市の政策 |
| 第3回 | 苫小牧市の消防 |
| 第4回 | 苫小牧市の環境衛生 |
| 第5回 | 苫小牧市の都市建設 |
| 第6回 | 未定 |

2021 北洋大学

| | |
|--|-----------------|
| 学部・学科 | 国際文化学部 キャリア創造学科 |
| 区分 | 専門科目 キャリア・情報 |
| 科目名 | 地方行政論 |
| 第7回 | 苫小牧市の上下水道 |
| 第8回 | 苫小牧市の健康こども |
| 第9回 | 苫小牧市の市民生活 |
| 第10回 | 未定 |
| 第11回 | 未定 |
| 第12回 | 未定 |
| 第13回 | 苫小牧市の福祉 |
| 第14回 | 苫小牧市の産業経済 |
| 第15回 | 苫小牧市の教育 |
| 成績評価の方法 | |
| 成績は、試験点等の合計点により評価する。 ※講義の実施回数により配点が変わる場合があります | |
| 受講登録以前に準備すること | |
| 特になし | |

2021 北洋大学

| | |
|-------|-----------------|
| 学部・学科 | 国際文化学部 キャリア創造学科 |
| 区分 | 専門科目 キャリア・情報 |
| 科目名 | 地方行政論 |
| 授業の方法 | |
| 講義形式 | |
| テキスト | |
| | |

2021 北洋大学

| | | | | | | | |
|-------|-------|-----------------|--|------|------------|------|----|
| 学部・学科 | | 国際文化学部 キャリア創造学科 | | | | | |
| 区分 | | 専門科目 キャリア・情報 | | | | | |
| 科目名 | | 機械学習とAI | | | | | |
| 対象 | 3年、4年 | 開講期 | | 開講学期 | 2023年春学期 | 履修要件 | 選択 |
| 種類 | 講義 | 時間数 | | 単位 | 2 | 授業回数 | 15 |
| クラス | | 教室 | | 担当教員 | 村本 充、浅見 廣樹 | | |

到達目標

社会におけるAI利活用の広がりを理解し、AIを活用する価値を説明できる。
機械学習の基本的な概念と手法を説明できる。

講義内容

近年様々な分野で導入が進むAI(人工知能)について、Webアプリを用いた体験を通して、AIの得意・不得意を理解する。
社会でAIがどのように活用され新たな価値を生んでいるのかを調べ、AIの正しい活用方法を考える。
AIの原理である機械学習やニューラルネットワークについてpythonを用いた演習を通じて理解する。

備考

授業計画

| | |
|-----|----------------|
| 第1回 | ガイダンス |
| 第2回 | 画像認識体験 |
| 第3回 | 音声認識体験 |
| 第4回 | 姿勢推定体験 |
| 第5回 | AIとは何か |
| 第6回 | 機械学習とディープラーニング |

2021 北洋大学

| | |
|---------------------------------|-----------------|
| 学部・学科 | 国際文化学部 キャリア創造学科 |
| 区分 | 専門科目 キャリア・情報 |
| 科目名 | 機械学習とAI |
| 第7回 | AIによる人間のしごとの代替 |
| 第8回 | AIに関する社会的課題 |
| 第9回 | pythonによるデータ処理① |
| 第10回 | pythonによるデータ処理② |
| 第11回 | 教師あり学習① |
| 第12回 | 教師あり学習② |
| 第13回 | 教師なし学習 |
| 第14回 | ニューラルネットワーク |
| 第15回 | 畳み込みニューラルネットワーク |
| 成績評価の方法 | |
| 毎回の授業後の事後課題(75%) 期末レポート(25%) | |
| 受講登録以前に準備すること | |
| 授業中の演習でPCを使用するので持参すること | |

2021 北洋大学

| | |
|--|-----------------|
| 学部・学科 | 国際文化学部 キャリア創造学科 |
| 区分 | 専門科目 キャリア・情報 |
| 科目名 | 機械学習とAI |
| 授業の方法 | |
| パワーポイントによる講義の他、PCを用いた演習を行う。 | |
| テキスト | |
| 【参考図書】 AIリテラシーの教科書 東京電気大学出版局 | |

2021 北洋大学

| | | | | | | | |
|--|-----------------|-----------------|--|------|----------|------|----|
| 2021 北洋大学 | | | | | | | |
| 学部・学科 | | 国際文化学部 キャリア創造学科 | | | | | |
| 区分 | | 専門科目 文化・社会 | | | | | |
| 科目名 | | 先住民学 | | | | | |
| 対象 | 2年、3年、4年 | 開講期 | | 開講学期 | 2023年春学期 | 履修要件 | 選択 |
| 種類 | 講義 | 時間数 | | 単位 | 2 | 授業回数 | 15 |
| クラス | | 教室 | | 担当教員 | 劉 高力 | | |
| 到達目標 | | | | | | | |
| 民族学、文化人類学の基本概念を把握する。 文化の多様性を認識、理解する。異文化人間への尊厳を尊重することと学ぶ。 | | | | | | | |
| 講義内容 | | | | | | | |
| 先住民、少数民族など民族学や文化人類学の基本的な概念を理解することが大切である。 他人という鏡から見ると、自分の存在がよくわかる。他人の文化を理解したうえで、自分の文化へ認識が深くなる。 異文化への理解の重要性、異なる文化を持つ人々に対する尊重や配慮を学ぶ。 授業では、アジアの民族文化を主に紹介しながら、欧米の先住民の現状、民族学系の博物館の知識なども伝える。 | | | | | | | |
| 備考 | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 第1回 | 講義全体の紹介 アイスブレイク | | | | | | |
| 第2回 | 東アジアの民族と文化(1) | | | | | | |
| 第3回 | 東アジアの民族と文化(2) | | | | | | |
| 第4回 | 東アジアの民族と文化(3) | | | | | | |
| 第5回 | 先住民と博物館(1) | | | | | | |
| 第6回 | 先住民と博物館(2) | | | | | | |

2021 北洋大学

| | |
|---------------------------|----------------------|
| 学部・学科 | 国際文化学部 キャリア創造学科 |
| 区分 | 専門科目 文化・社会 |
| 科目名 | 先住民学 |
| 第7回 | 移民の世界(1)民族共生とは |
| 第8回 | 移民の世界(2)多文化、多言語などの問題 |
| 第9回 | 性のあらゆる事情 |
| 第10回 | 宗教、民俗と食事 |
| 第11回 | 南アジアの民族と文化(1) |
| 第12回 | 南アジアの民族と文化(2) |
| 第13回 | 南アジアの民族と文化(3) |
| 第14回 | フィールドワークをやって見よう |
| 第15回 | フィールドワークをやって見よう |
| 成績評価の方法 | |
| 授業内の参加度(60%)期末テスト小論文(40%) | |
| 受講登録以前に準備すること | |
| | |

2021 北洋大学

| | |
|----------------------------|-----------------|
| 学部・学科 | 国際文化学部 キャリア創造学科 |
| 区分 | 専門科目 文化・社会 |
| 科目名 | 先住民学 |
| 授業の方法 | |
| 毎回の授業には、講義と学生の発表、議論時間が各50% | |
| テキスト | |
| | |

2021 北洋大学

| | | | | | | | |
|-------|-----------------|-----|--|------|------------------|------|----|
| 学部・学科 | 国際文化学部 キャリア創造学科 | | | | | | |
| 区分 | 専門科目 文化・社会 | | | | | | |
| 科目名 | 北海道歴史文化論 | | | | | | |
| 対象 | 2年、3年、4年 | 開講期 | | 開講学期 | 2023年春学期 | 履修要件 | 選択 |
| 種類 | 講義 | 時間数 | | 単位 | 2 | 授業回数 | 15 |
| クラス | | 教室 | | 担当教員 | 武田 正哉、岩波 連、佐藤 麻莉 | | |

到達目標

1. 北海道の歴史文化を語る上で考古学の果たす役割と苫小牧における遺跡の特徴について理解する。
2. 近世から近代初頭にかけての北海道や苫小牧の歴史について、時代背景をふまえながら理解する。
3. 近代から現代にかけて道内を代表する工業都市へ変貌を遂げる苫小牧の歴史について理解する。

講義内容

1. 考古学とはどんな学問なのか、北海道の歴史文化を語る上で考古学の果たす役割についてみていく。
また、苫小牧にはどんな遺跡があり、どんな特徴があるのか市埋蔵文化財センターが調査してきた遺跡の発掘成果から紹介する。
2. 近世(江戸時代)後期から近代(明治時代)初頭にかけての日本史について解説する。
3. 近代から現代に至る北海道における苫小牧の位置を史実を通して解説する。

備考

授業計画

| | |
|-----|---|
| 第1回 | 考古学とは？・旧石器時代～縄文時代早期まで |
| | 担当教員 岩波 連 |
| 第2回 | 縄文時代前期～縄文時代晩期まで |
| | 担当教員 岩波 連 |
| 第3回 | 続縄文時代～擦文時代 |
| | 担当教員 岩波 連 |
| 第4回 | 発掘調査から見るアイヌ文化 |
| | 担当教員 岩波 連 |
| 第5回 | これも考古学の対象・戦争、骨、近現代のもの |
| | 担当教員 岩波 連 |
| 第6回 | はじめに～近世蝦夷地の概観 ※5月19日を休講とし、20日に苫小牧市美術博物館で学外授業を行います。 |
| | 担当教員 佐藤 麻莉 |

2021 北洋大学

| | | |
|---|---------------------------------|-------|
| 学部・学科 | 国際文化学部 キャリア創造学科 | |
| 区分 | 専門科目 文化・社会 | |
| 科目名 | 北海道歴史文化論 | |
| 第7回 | 場所請負人山田文右衛門の活動～松前藩による場所請負制の展開 | |
| | 担当教員 | 佐藤 麻莉 |
| 第8回 | 八王子千人同心の蝦夷地移住～第一次幕領期と近世後期の対外関係史 | |
| | 担当教員 | 佐藤 麻莉 |
| 第9回 | 幕末の勇払～第二次幕領期と幕末の対外関係史 | |
| | 担当教員 | 佐藤 麻莉 |
| 第10回 | 勇払から苫細へ～北海道開拓政策の展開 | |
| | 担当教員 | 佐藤 麻莉 |
| 第11回 | 苫小牧地方における輸送や労働力としての牛馬の役割 | |
| | 担当教員 | 武田 正哉 |
| 第12回 | マッチ製造業にみる木材資料の活用 | |
| | 担当教員 | 武田 正哉 |
| 第13回 | 王子製紙の進出による近代化と市街地の形成 | |
| | 担当教員 | 武田 正哉 |
| 第14回 | 流通の拠点としての苫小牧港の完成と街に与えた影響 | |
| | 担当教員 | 武田 正哉 |
| 第15回 | 苫小牧における文化・芸術・スポーツの興隆 | |
| | 担当教員 | 武田 正哉 |
| 成績評価の方法 | | |
| 期末レポートの提出 | | |
| 受講登録以前に準備すること | | |
| 5月20日(土) 苫小牧市美術博物館の見学(10名以下入館料300円、10名以上団体料金240円) | | |

2021 北洋大学

| | |
|----------------|-----------------|
| 学部・学科 | 国際文化学部 キャリア創造学科 |
| 区分 | 専門科目 文化・社会 |
| 科目名 | 北海道歴史文化論 |
| 授業の方法 | |
| 資料配付をもとにした講義形式 | |
| テキスト | |
| | |

2021 北洋大学

| | | | | | | | |
|--|---------------------------|-----------------|--|------|--------------|------|----|
| 2021 北洋大学 | | | | | | | |
| 学部・学科 | | 国際文化学部 キャリア創造学科 | | | | | |
| 区分 | | 専門科目 文化・社会 | | | | | |
| 科目名 | | 北海道の自然と食文化 | | | | | |
| 対象 | 2年、3年、4年 | 開講期 | | 開講学期 | 2023年春学期 | 履修要件 | 選択 |
| 種類 | 講義 | 時間数 | | 単位 | 2 | 授業回数 | 15 |
| クラス | | 教室 | | 担当教員 | 村田 まり子、藤田 恵二 | | |
| 到達目標 | | | | | | | |
| 講義内容 | | | | | | | |
| <p>2013年日本人の伝統的食文化がユネスコ無形文化遺産に登録された。四季の変化に富み多様な食材を収穫できる日本列島では、素材を生かす独特の調理法が生み出された。そして外来の文化も巧みに取り入れてきた伝統的な日本の食文化が形成されてきた。本講義では、日本の食の変遷と魅力について学んでいく。</p> | | | | | | | |
| 備考 | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 第1回 | オリエンテーション:日本の食文化イントロダクション | | | | | | |
| 第2回 | 日本文化の時代区分 ① 先史時代・古代・中世 | | | | | | |
| 第3回 | 日本文化の時代区分 ② 近代 | | | | | | |
| 第4回 | 実習 | | | | | | |
| 第5回 | 日本文化の時代区分 ③ 現代 | | | | | | |
| 第6回 | 現代の食環境と食生活① | | | | | | |

2021 北洋大学

| | |
|---------------|----------------------|
| 学部・学科 | 国際文化学部 キャリア創造学科 |
| 区分 | 専門科目 文化・社会 |
| 科目名 | 北海道の自然と食文化 |
| 第7回 | 現代の食環境と食生活② |
| 第8回 | 実習 |
| 第9回 | 地域の食材と郷土料理 |
| 第10回 | 年中料理と料理 |
| 第11回 | 和食文化を生み出す食材と料理 |
| 第12回 | 実習 |
| 第13回 | 和食を演出する要素(酒・茶・和菓子・器) |
| 第14回 | 和食と料理・作法 |
| 第15回 | まとめ |
| 成績評価の方法 | |
| | |
| 受講登録以前に準備すること | |
| | |

2021 北洋大学

| | |
|-------|-----------------|
| 学部・学科 | 国際文化学部 キャリア創造学科 |
| 区分 | 専門科目 文化・社会 |
| 科目名 | 北海道の自然と食文化 |
| 授業の方法 | |
| | |
| テキスト | |
| | |

2021 北洋大学

| | | | | | | | |
|-------|-----------------|-----|--|------|----------|------|----|
| 学部・学科 | 国際文化学部 キャリア創造学科 | | | | | | |
| 区分 | 専門科目 文化・社会 | | | | | | |
| 科目名 | 日本歴史文化論 | | | | | | |
| 対象 | 2年、3年、4年 | 開講期 | | 開講学期 | 2023年春学期 | 履修要件 | 選択 |
| 種類 | 講義 | 時間数 | | 単位 | 2 | 授業回数 | 15 |
| クラス | | 教室 | | 担当教員 | 長谷 仁美 | | |

到達目標

・日本列島北部周辺、とりわけ北海道の先住民族であるアイヌ民族固有の文化および現状に関する基礎的な知識を概括的に把握し、日本の歴史・文化の多様性を理解することができる。
 ・多角的な視点で物事を捉える力を養い、文化の多様性について自ら探究することができる。

講義内容

アイヌ民族の現状を概括的に理解した上で、アイヌの伝統的な文化について、生業や生活、風習、世界観等を中心に理解を深める。アイヌ民族の歴史・文化から日本の歴史や文化を探究し、文化の多様性についての理解にまで到達することを目指す。映像資料を利用することで理解の促進を図る。

備考

授業計画

| | |
|-----|------------------|
| 第1回 | 概要 |
| 第2回 | 現代のアイヌ民族・学校教育の実態 |
| 第3回 | アイヌ語・地名 |
| 第4回 | 衣服文化 |
| 第5回 | 食文化1 |
| 第6回 | 食文化2 DVD |

2021 北洋大学

| | |
|----------------------|-----------------|
| 学部・学科 | 国際文化学部 キャリア創造学科 |
| 区分 | 専門科目 文化・社会 |
| 科目名 | 日本歴史文化論 |
| 第7回 | 住居 |
| 第8回 | 狩猟 |
| 第9回 | 世界観 |
| 第10回 | 儀礼・先祖供養 |
| 第11回 | 芸能 |
| 第12回 | 口承文芸 |
| 第13回 | 伝承からみる動植物1 |
| 第14回 | 伝承からみる動植物2 |
| 第15回 | 全体のまとめ |
| 成績評価の方法 | |
| レポート、随時提出の課題内容により評価。 | |
| 受講登録以前に準備すること | |
| | |

2021 北洋大学

| | |
|-----------------------|-----------------|
| 学部・学科 | 国際文化学部 キャリア創造学科 |
| 区分 | 専門科目 文化・社会 |
| 科目名 | 日本歴史文化論 |
| 授業の方法 | |
| | |
| テキスト | |
| 適宜プリントを配布。参考書は随時紹介する。 | |

2021 北洋大学

| | | | | | | | |
|-------|-----|-----------------|--|------|----------|------|----|
| 学部・学科 | | 国際文化学部 キャリア創造学科 | | | | | |
| 区分 | | 専門科目 文化・社会 | | | | | |
| 科目名 | | 英語で学ぶ日本 | | | | | |
| 対象 | 全学年 | 開講期 | | 開講学期 | 2023年春学期 | 履修要件 | 選択 |
| 種類 | 講義 | 時間数 | | 単位 | 2 | 授業回数 | 15 |
| クラス | | 教室 | | 担当教員 | 岡迫 晃 | | |

到達目標

日本文化を簡単な英語で伝える力を身につけることを目標とします。

講義内容

日本人の様々な生活習慣・食文化・行事等が平易な英語で解説されているテキストを使います。(結果的に英語で)そして自分のことは勿論日本について英語で発信できる力を養います。

備考

授業計画

| | |
|-----|---|
| 第1回 | Starter: Reflection & Goal Setting 日本のことを英語で伝えるために |
| 第2回 | Greetings and Manners 日本式挨拶とマナー |
| 第3回 | Seasonal Events in Japan 日本の季節と行事 |
| 第4回 | Popular school Events 人気のある学校行事 |
| 第5回 | Eating in Japan バラエティに富む日本の食事 |
| 第6回 | Sightseeing 日本の忍者は大人気 |

2021 北洋大学

| | |
|--|--|
| 学部・学科 | 国際文化学部 キャリア創造学科 |
| 区分 | 専門科目 文化・社会 |
| 科目名 | 英語で学ぶ日本 |
| 第7回 | Ancient Agriculture 伝統に根ざした日本の農業 |
| 第8回 | Politics 日本の政治の仕組み |
| 第9回 | Economy 時代を映す日本経済 |
| 第10回 | Sports 大会を盛り上げるサポートー |
| 第11回 | Changes in Japanese sports 日本人が好きなスポーツ |
| 第12回 | Favorite Places to Visit お薦め観光地 |
| 第13回 | Japanese Cooking 日本食は「うまみ」が決めて |
| 第14回 | Japanized Foreign Culture 日本化した外国文化 |
| 第15回 | Project: Treasures of Japan 日本の宝物を紹介しよう |
| 成績評価の方法 | |
| 授業内での参加度、予習状況 30% 小テスト 20% 筆記試験 50% の総合的判断で評価します。 | |
| 受講登録以前に準備すること | |
| テキスト、電子辞書(スマホ不可)又は英和辞書 | |

2021 北洋大学

| | |
|--|-----------------|
| 学部・学科 | 国際文化学部 キャリア創造学科 |
| 区分 | 専門科目 文化・社会 |
| 科目名 | 英語で学ぶ日本 |
| 授業の方法 | |
| この授業は予習を必要とします。 毎時間各章の文法項目に焦点を当てた和文英訳リスニング。英問英答式のリスニング。日本文化について尋ねられた時に応答する練習を行います。また毎回小テストも実施します。 | |
| テキスト | |
| Real-time Japan in Basic English 朝日出版 1870円 | |

2017 北洋大学

| | | | | | | | |
|--|--------------------------|-----------------|--|------|----------|------|----|
| 2017 北洋大学 | | | | | | | |
| 学部・学科 | | 国際文化学部 キャリア創造学科 | | | | | |
| 区分 | | 専門科目 専門科目 | | | | | |
| 科目名 | | マルチメディアとWeb技術 | | | | | |
| 対象 | 2年、3年、4年 | 開講期 | | 開講学期 | 2023年春学期 | 履修要件 | 選択 |
| 種類 | 講義 | 時間数 | | 単位 | 2 | 授業回数 | 15 |
| クラス | | 教室 | | 担当教員 | 戸崎 肇 | | |
| 到達目標 | | | | | | | |
| <p>メディアの役割を、自覚的、批判的に理解する。 新聞、放送、ソーシャルメディア、広告など時代のメディア状況を把握できる。 ソーシャルメディアの現状、課題を理解し、将来像を提案できる。</p> | | | | | | | |
| 講義内容 | | | | | | | |
| <p>「メディアとは何ですか」と聞かれると、みなさんはTwitterとかInstagramなどのソーシャルメディアを真っ先に思い浮かべるかもしれませんが。 いまやオールドメディアとまで揶揄される新聞、テレビ、ラジオが、ジャーナリズムのど真ん中にいたこともありました。本講義では、現代社会の中でのメディアの位置づけ、各媒体の現状などを学び、メディア状況を概観し、将来を考えていきます。</p> | | | | | | | |
| 備考 | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 第1回 | オリエンテーション なぜメディアを学ぶのか | | | | | | |
| 第2回 | 新聞① 国内の新聞社 | | | | | | |
| 第3回 | 新聞② 新聞社の経営と読者の変化 | | | | | | |
| 第4回 | 放送① 放送制度 | | | | | | |
| 第5回 | 放送② テレビとニュース | | | | | | |
| 第6回 | 出版 書籍と雑誌の変化 | | | | | | |

2017 北洋大学

| | |
|-------|-----------------|
| 学部・学科 | 国際文化学部 キャリア創造学科 |
| 区分 | 専門科目 専門科目 |
| 科目名 | マルチメディアとWeb技術 |
| 第7回 | インターネット① |
| 第8回 | インターネット② |
| 第9回 | 広告① 業界の概要 |
| 第10回 | 広告② 広告とマーケティング |
| 第11回 | 携帯からスマホ |
| 第12回 | ネットメディア① |
| 第13回 | ネットメディア② |
| 第14回 | メディアリテラシー |
| 第15回 | まとめ |

成績評価の方法

発表の内容、授業への参加意欲、論議への参加を考慮する。後半にテーマを提示し、レポートを提出してもらう。
出席回数、授業への貢献度(50%)、レポートの評価(50%)

受講登録以前に準備すること

2017 北洋大学

| | |
|--|-----------------|
| 学部・学科 | 国際文化学部 キャリア創造学科 |
| 区分 | 専門科目 専門科目 |
| 科目名 | マルチメディアとWeb技術 |
| 授業の方法 | |
| オンラインによる授業 毎回担当を決め、テキストを元にパワポによるレジュメを発表をしてもらい、発表者への質問、各テーマについての議論を深めます。 | |
| テキスト | |
| | |

2017 北洋大学

| | | | | | | | |
|---|-----------|-----------------|--|------|----------|------|----|
| 2017 北洋大学 | | | | | | | |
| 学部・学科 | | 国際文化学部 キャリア創造学科 | | | | | |
| 区分 | | 専門科目 専門科目 | | | | | |
| 科目名 | | 自治行政 | | | | | |
| 対象 | 2年、3年、4年 | 開講期 | | 開講学期 | 2023年春学期 | 履修要件 | 選択 |
| 種類 | 講義 | 時間数 | | 単位 | 2 | 授業回数 | 15 |
| クラス | | 教室 | | 担当教員 | 山田 利一 | | |
| 到達目標 | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・地方自治体の組織と行政の業務内容について理解する。 ・地方自治体が抱える課題と解決方法について考える。 | | | | | | | |
| 講義内容 | | | | | | | |
| <p>本講義では、様々な分野によって構成されている地方行政・地方自治の現状を、市職員を講師に、実務者の観点から概説し、より身近にある自治について触れていきます。</p> <p>また、地方行政で行われている業務や、地方自治体が抱えている諸問題など、実務者の経験に基づき考えていきます。</p> | | | | | | | |
| 備考 | | | | | | | |
| 実務家教員による科目 | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 第1回 | オリエンテーション | | | | | | |
| 第2回 | 苫小牧市の政策 | | | | | | |
| 第3回 | 苫小牧市の消防 | | | | | | |
| 第4回 | 苫小牧市の環境衛生 | | | | | | |
| 第5回 | 苫小牧市の都市建設 | | | | | | |
| 第6回 | 未定 | | | | | | |

2017 北洋大学

| | |
|----------------------|-----------------|
| 学部・学科 | 国際文化学部 キャリア創造学科 |
| 区分 | 専門科目 専門科目 |
| 科目名 | 自治行政 |
| 第7回 | 苫小牧市の上下水道 |
| 第8回 | 苫小牧市の健康こども |
| 第9回 | 苫小牧市の市民生活 |
| 第10回 | 未定 |
| 第11回 | 未定 |
| 第12回 | 未定 |
| 第13回 | 苫小牧市の福祉 |
| 第14回 | 苫小牧市の産業経済 |
| 第15回 | 苫小牧市の教育 |
| 成績評価の方法 | |
| 成績は、試験点等の合計点により評価する。 | |
| 受講登録以前に準備すること | |
| 特になし | |

2017 北洋大学

| | |
|-------|-----------------|
| 学部・学科 | 国際文化学部 キャリア創造学科 |
| 区分 | 専門科目 専門科目 |
| 科目名 | 自治行政 |
| 授業の方法 | |
| 講義形式 | |
| テキスト | |
| | |

2017 北洋大学

| | | | | | | | |
|--|--------------------------------|-----------------|--|------|----------|------|----|
| 2017 北洋大学 | | | | | | | |
| 学部・学科 | | 国際文化学部 キャリア創造学科 | | | | | |
| 区分 | | 専門科目 専門科目 | | | | | |
| 科目名 | | 国際社会概論 | | | | | |
| 対象 | 全学年 | 開講期 | | 開講学期 | 2023年春学期 | 履修要件 | 選択 |
| 種類 | 講義 | 時間数 | | 単位 | 2 | 授業回数 | 15 |
| クラス | | 教室 | | 担当教員 | 乗松 優 | | |
| 到達目標 | | | | | | | |
| <p>人間という種はひとつでありながら、私たちはあたかも複数の種類の人間が存在しているかのような認識を持っている。何が、私たちをそのような考えに駆り立てるのだろうか。</p> <p>肌の色か、出自か、宗教か、あるいは他の生物学的・文化的な違いによるものだろうか。</p> <p>人種という概念が所与のものではないことを理解しつつ、人間集団を分類・序列化し差別を肯定する社会のあり方を批判的に捉える視点を養う。</p> | | | | | | | |
| 講義内容 | | | | | | | |
| <p>2020年、警察によるジョージ・フロイド氏殺害に端を発する反人種主義運動が国際社会に衝撃を与えた。アメリカのみならず国際社会で、過剰なポリッシングを行う法執行機関に対して抗議活動が巻き起こり、奴隷制や人種差別に加担した歴史上の著名人の像が撤去されたのは周知の通りである。</p> <p>講義では、世界史に新たな一ページを刻む出来事となった「Black Lives Matter」(黒人の命は大事だ)を手がかりに、現代アメリカ社会と人種問題を考えたい。アメリカ黒人の歴史を概観しつつ、今日のアメリカ市民社会が人種差別に対してどのように向き合ったのかを学習する。</p> | | | | | | | |
| 備考 | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 第1回 | 人種の何が問題なのか？ | | | | | | |
| 第2回 | 構築された概念としての人種 | | | | | | |
| 第3回 | 人種とスポーツ 黒人の身体能力は生まれつき優れているのか？ | | | | | | |
| 第4回 | プランテーション奴隷制度とアボリショニズム(奴隷制廃止主義) | | | | | | |
| 第5回 | 南北戦争と戦後の南部再建 | | | | | | |
| 第6回 | 近代黒人解放運動と公民権闘争 | | | | | | |

2017 北洋大学

| | |
|---|--|
| 学部・学科 | 国際文化学部 キャリア創造学科 |
| 区分 | 専門科目 専門科目 |
| 科目名 | 国際社会概論 |
| 第7回 | 映像を語る1『13th - 憲法修正第13条-』 |
| 第8回 | スポーツ界は人種主義をどう捉えたか？ |
| 第9回 | 映像を語る2 |
| 第10回 | 音楽界は人種主義をどう捉えたか？ |
| 第11回 | リッチモンドにおけるBLM 南北戦争とThe Lost Cause(南部の失われた大義) |
| 第12回 | リッチモンドにおけるBLM 南北戦争と記念碑 |
| 第13回 | ポートランドにおけるBLM アメリカ社会の分断 |
| 第14回 | ポートランドにおけるBLM 人種主義と市民社会の働きかけ |
| 第15回 | まとめ |
| 成績評価の方法 | |
| 授業回数の3分の2以上の出席者を対象に、終了試験(レポート)をおこなう。その点数が最終評価となる。 | |
| 受講登録以前に準備すること | |
| 講義では、テーマに関係のある映像や映画を幾つか取り上げる。 受講生は事前に視聴しておく必要がある。取り上げる作品は講義内で発表する。 | |

2017 北洋大学

| | |
|--|-----------------|
| 学部・学科 | 国際文化学部 キャリア創造学科 |
| 区分 | 専門科目 専門科目 |
| 科目名 | 国際社会概論 |
| 授業の方法 | |
| オンライン会議システムを用いた講義形式とする。受講生は毎回、コメントペーパーを提出する。 | |
| テキスト | |
| 本田創造、2018『アメリカ黒人の歴史 新版』岩波書店。 バーバラ・ランスビー著、藤永康政訳、2022『ブラック・ライブズ・マター運動誕生の歴史』彩流社。 | |

2017 北洋大学

| | | | | | | | |
|---|---------------------|-----------------|--|------|----------|------|----|
| 2017 北洋大学 | | | | | | | |
| 学部・学科 | | 国際文化学部 キャリア創造学科 | | | | | |
| 区分 | | 専門科目 専門科目 | | | | | |
| 科目名 | | 家族社会学 | | | | | |
| 対象 | 3年、4年 | 開講期 | | 開講学期 | 2023年春学期 | 履修要件 | 選択 |
| 種類 | 講義 | 時間数 | | 単位 | 2 | 授業回数 | 15 |
| クラス | | 教室 | | 担当教員 | 香山 リカ | | |
| 到達目標 | | | | | | | |
| 高度に情報化された社会の特徴とそこに生きる人の心理について理解し、その中で自分らしく生きるためのスキルを身につけることができる。 | | | | | | | |
| 講義内容 | | | | | | | |
| インターネットの出現は私たちの生活を根底から変え、「スマホなしでは生きられない人たち」を世界中に出現させた。それは人間の心理にも少なからぬ影響を与えている。またフェイクニュースに象徴されるさまざまなリスクの発生も見逃せない。それらについて具体的な事例をあげながら解説し、問題への対処法についても学んでいく。 | | | | | | | |
| 備考 | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 第1回 | オリエンテーション | | | | | | |
| 第2回 | メディアの歴史を振り返る | | | | | | |
| 第3回 | ラジオの時代、テレビの時代、電話の時代 | | | | | | |
| 第4回 | メディアにだまされる人たち(1) | | | | | | |
| 第5回 | メディアにだまされる人たち(2) | | | | | | |
| 第6回 | インターネットの出現と問題 | | | | | | |

2017 北洋大学

| | |
|--|-----------------------|
| 学部・学科 | 国際文化学部 キャリア創造学科 |
| 区分 | 専門科目 専門科目 |
| 科目名 | 家族社会学 |
| 第7回 | インターネット依存症 |
| 第8回 | インターネット多重人格 |
| 第9回 | 闇バイトや自殺幫助とネットの親和性 |
| 第10回 | なぜSNSは炎上するのか |
| 第11回 | フェイクニュースにだまされる心理(1) |
| 第12回 | フェイクニュースにだまされる心理(2) |
| 第13回 | メディア社会で身につけたい心のあり方(1) |
| 第14回 | メディア社会で身につけたい心のあり方(2) |
| 第15回 | まとめとふりかえり |
| 成績評価の方法 | |
| 講義・演習への参加と取組(20%) 演習課題・リアクションペーパー課題(30%) 最終レポート課題(40%) | |
| 受講登録以前に準備すること | |
| | |

2017 北洋大学

| | |
|---|-----------------|
| 学部・学科 | 国際文化学部 キャリア創造学科 |
| 区分 | 専門科目 専門科目 |
| 科目名 | 家族社会学 |
| 授業の方法 | |
| 教科書は用いない。講義ではスライドを使用し、適宜レジュメなどを配布する。 授業時間にディスカッションや発表の時間を設ける。 毎回ではないが、授業の最後にリアクショペーパーの提出を求める。 | |
| テキスト | |
| | |

2021 北洋大学

| | | | | | | | |
|---|-------------------------------------|-----------------------|--|------|----------|------|------|
| 2021 北洋大学 | | | | | | | |
| 学部・学科 | | 国際文化学部 キャリア創造学科 | | | | | |
| 区分 | | 専門科目 言語文化 | | | | | |
| 科目名 | | Intensive Reading III | | | | | |
| 対象 | 全学年 | 開講期 | | 開講学期 | 2023年春学期 | 履修要件 | 選択必修 |
| 種類 | 講義 | 時間数 | | 単位 | 2 | 授業回数 | 15 |
| クラス | | 教室 | | 担当教員 | 岡迫 晃 | | |
| 到達目標 | | | | | | | |
| 英語の特に読解力を苦手とする学生が、比較的短めの英語の文章、メールが読めるようになることを目標とします。 | | | | | | | |
| 講義内容 | | | | | | | |
| テキストの購読の内容は主にニューヨークの旅行会社でインターンシップをすることになった大学生の話です。仕事で使う簡単な英語表現やアメリカ文化を学びながら読解力を身につけていきます。 | | | | | | | |
| 備考 | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 第1回 | Welcome to the "Pig Apple" 現在形 | | | | | | |
| 第2回 | What's the Boss Like? 代名詞 | | | | | | |
| 第3回 | Masa's First Day on the Job 前置詞 | | | | | | |
| 第4回 | Summer Fun 過去形 | | | | | | |
| 第5回 | Hotel Guest Satisfaction 加算名詞・不可算名詞 | | | | | | |
| 第6回 | Brainstorming 進行形 | | | | | | |

2021 北洋大学

| | |
|--|-------------------------------------|
| 学部・学科 | 国際文化学部 キャリア創造学科 |
| 区分 | 専門科目 言語文化 |
| 科目名 | Intensive Reading III |
| 第7回 | Glad to Be of Service WH 疑問文 |
| 第8回 | Socializing with Co-Workers 動名詞・不定詞 |
| 第9回 | Vacation Spots 未来形 |
| 第10回 | Sports Talk ! 比較級・最上級 |
| 第11回 | Tour Day 助動詞 |
| 第12回 | Party Time! 現在完了形 |
| 第13回 | office Meeting 関係詞 |
| 第14回 | A Bit of History 受動態 |
| 第15回 | Farewell, Masa and Lucy 接続詞 |
| 成績評価の方法 | |
| 授業内での参加度、予習状況 30% 小テスト 20% 筆記試験 50% の総合的判断で評価します。 | |
| 受講登録以前に準備すること | |
| テキスト、電子辞書(スマホ不可)又は英和辞書(紙) | |

2021 北洋大学

| | |
|---|-----------------------|
| 学部・学科 | 国際文化学部 キャリア創造学科 |
| 区分 | 専門科目 言語文化 |
| 科目名 | Intensive Reading III |
| 授業の方法 | |
| この授業は予習を必要とします。毎回会話のリスニング後日本語に訳していきます。又それに付随する練習問題(並び替え、穴埋め等)を解いた後、仕上げに短めの長文読解に移っていきます。又小テストも実施します。 | |
| テキスト | |
| English Missions! Basic 金星堂 2090円 | |

2017 北洋大学

| | | | | | | | |
|-------|-------|-----------------|--|------|----------|------|----|
| 学部・学科 | | 国際文化学部 キャリア創造学科 | | | | | |
| 区分 | | 専門科目 専門科目 | | | | | |
| 科目名 | | アイヌ文化論 | | | | | |
| 対象 | 3年、4年 | 開講期 | | 開講学期 | 2023年春学期 | 履修要件 | 選択 |
| 種類 | 講義 | 時間数 | | 単位 | 2 | 授業回数 | 15 |
| クラス | | 教室 | | 担当教員 | 劉 高力 | | |

到達目標

民族学、文化人類学の基本概念を把握する。
文化の多様性を認識、理解する。異文化人間への尊厳を尊重することと学ぶ。

講義内容

先住民、少数民族など民族学や文化人類学の基本的な概念を理解することが大切である。
他人という鏡から見ると、自分の存在がよくわかる。他人の文化を理解したうえで、自分の文化へ認識が深くなる。
異文化への理解の重要性、異なる文化を持つ人々に対する尊重や配慮を学ぶ。
授業では、アジアの民族文化を主に紹介しながら、欧米の先住民の現状、民族学系の博物館の知識なども伝える。

備考

授業計画

| | |
|-----|-----------------|
| 第1回 | 講義全体の紹介 アイスブレイク |
| 第2回 | 東アジアの民族と文化(1) |
| 第3回 | 東アジアの民族と文化(2) |
| 第4回 | 東アジアの民族と文化(3) |
| 第5回 | 先住民と博物館(1) |
| 第6回 | 先住民と博物館(2) |

2017 北洋大学

| | |
|---------------------------|----------------------|
| 学部・学科 | 国際文化学部 キャリア創造学科 |
| 区分 | 専門科目 専門科目 |
| 科目名 | アイヌ文化論 |
| 第7回 | 移民の世界(1)民族共生とは |
| 第8回 | 移民の世界(2)多文化、多言語などの問題 |
| 第9回 | 性のあらゆる事情 |
| 第10回 | 宗教、民俗と食事 |
| 第11回 | 南アジアの民族と文化(1) |
| 第12回 | 南アジアの民族と文化(2) |
| 第13回 | 南アジアの民族と文化(3) |
| 第14回 | フィールドワークをやって見よう |
| 第15回 | フィールドワークをやって見よう |
| 成績評価の方法 | |
| 授業内の参加度(60%)期末テスト小論文(40%) | |
| 受講登録以前に準備すること | |
| | |

2017 北洋大学

| | |
|----------------------------|-----------------|
| 学部・学科 | 国際文化学部 キャリア創造学科 |
| 区分 | 専門科目 専門科目 |
| 科目名 | アイヌ文化論 |
| 授業の方法 | |
| 毎回の授業には、講義と学生の発表、議論時間が各50% | |
| テキスト | |
| | |

2017 北洋大学

| | | | | | | | |
|--|---------------------------|-----------------|--|------|--------------|------|----|
| 2017 北洋大学 | | | | | | | |
| 学部・学科 | | 国際文化学部 キャリア創造学科 | | | | | |
| 区分 | | 専門科目 専門科目 | | | | | |
| 科目名 | | 日本食文化論 | | | | | |
| 対象 | 2年、3年、4年 | 開講期 | | 開講学期 | 2023年春学期 | 履修要件 | 選択 |
| 種類 | 講義 | 時間数 | | 単位 | 2 | 授業回数 | 15 |
| クラス | | 教室 | | 担当教員 | 村田 まり子、藤田 恵二 | | |
| 到達目標 | | | | | | | |
| 講義内容 | | | | | | | |
| <p>2013年日本人の伝統的食文化がユネスコ無形文化遺産に登録された。四季の変化に富み多様な食材を収穫できる日本列島では、素材を生かす独特の調理法が生み出された。そして外来の文化も巧みに取り入れてきた伝統的な日本の食文化が形成されてきた。本講義では、日本の食の変遷と魅力について学んでいく。</p> | | | | | | | |
| 備考 | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 第1回 | オリエンテーション:日本の食文化イントロダクション | | | | | | |
| | 担当教員 | 村田 まり子 | | | | | |
| 第2回 | 日本文化の時代区分 ① 先史時代・古代・中世 | | | | | | |
| | 担当教員 | 村田 まり子 | | | | | |
| 第3回 | 日本文化の時代区分 ② 近代 | | | | | | |
| | 担当教員 | 村田 まり子 | | | | | |
| 第4回 | 実習 | | | | | | |
| | 担当教員 | 藤田 恵二 | | | | | |
| 第5回 | 日本文化の時代区分 ③ 現代 | | | | | | |
| | 担当教員 | 村田 まり子 | | | | | |
| 第6回 | 現代の食環境と食生活① | | | | | | |
| | 担当教員 | 村田 まり子 | | | | | |

2017 北洋大学

| | | |
|---------------|----------------------|--------|
| 学部・学科 | 国際文化学部 キャリア創造学科 | |
| 区分 | 専門科目 専門科目 | |
| 科目名 | 日本食文化論 | |
| 第7回 | 現代の食環境と食生活② | |
| | 担当教員 | 村田 まり子 |
| 第8回 | 実習 | |
| | 担当教員 | 藤田 恵二 |
| 第9回 | 地域の食材と郷土料理 | |
| | 担当教員 | 村田 まり子 |
| 第10回 | 年中料理と料理 | |
| | 担当教員 | 村田 まり子 |
| 第11回 | 和食文化を生み出す食材と料理 | |
| | 担当教員 | 村田 まり子 |
| 第12回 | 実習 | |
| | 担当教員 | 藤田 恵二 |
| 第13回 | 和食を演出する要素(酒・茶・和菓子・器) | |
| | 担当教員 | 村田 まり子 |
| 第14回 | 和食と料理・作法 | |
| | 担当教員 | 村田 まり子 |
| 第15回 | まとめ | |
| | 担当教員 | 村田 まり子 |
| 成績評価の方法 | | |
| | | |
| 受講登録以前に準備すること | | |
| | | |

2017 北洋大学

| | |
|-------|-----------------|
| 学部・学科 | 国際文化学部 キャリア創造学科 |
| 区分 | 専門科目 専門科目 |
| 科目名 | 日本食文化論 |
| 授業の方法 | |
| | |
| テキスト | |
| | |

2017 北洋大学

| | | | | | | | |
|-------|----------|-----------------|--|------|------------------|------|----|
| 学部・学科 | | 国際文化学部 キャリア創造学科 | | | | | |
| 区分 | | 専門科目 専門科目 | | | | | |
| 科目名 | | 北海道地方史 | | | | | |
| 対象 | 2年、3年、4年 | 開講期 | | 開講学期 | 2023年春学期 | 履修要件 | 選択 |
| 種類 | 講義 | 時間数 | | 単位 | 2 | 授業回数 | 15 |
| クラス | | 教室 | | 担当教員 | 武田 正哉、岩波 連、佐藤 麻莉 | | |

到達目標

1. 北海道の歴史文化を語る上で考古学の果たす役割と苫小牧における遺跡の特徴について理解する。
2. 近世から近代初頭にかけての北海道や苫小牧の歴史について、時代背景をふまえながら理解する。
3. 近代から現代にかけて道内を代表する工業都市へ変貌を遂げる苫小牧の歴史について理解する。

講義内容

1. 考古学とはどんな学問なのか、北海道の歴史文化を語る上で考古学の果たす役割についてみていく。
また、苫小牧にはどんな遺跡があり、どんな特徴があるのか市埋蔵文化財センターが調査してきた遺跡の発掘成果から紹介する。
2. 近世(江戸時代)後期から近代(明治時代)初頭にかけての日本史について解説する。
3. 近代から現代に至る北海道における苫小牧の位置を史実を通して解説する。

備考

授業計画

| | |
|-----|---|
| 第1回 | 考古学とは？・旧石器時代～縄文時代早期まで |
| | 担当教員 岩波 連 |
| 第2回 | 縄文時代前期～縄文時代晩期まで |
| | 担当教員 岩波 連 |
| 第3回 | 続縄文時代～擦文時代 |
| | 担当教員 岩波 連 |
| 第4回 | 発掘調査から見るアイヌ文化 |
| | 担当教員 岩波 連 |
| 第5回 | これも考古学の対象・戦争、骨、近現代のもの |
| | 担当教員 岩波 連 |
| 第6回 | はじめに～近世蝦夷地の概観 ※5月19日を休講とし、20日に苫小牧市美術博物館で学外授業を行います。 |
| | 担当教員 佐藤 麻莉 |

2017 北洋大学

| | | |
|---|---------------------------------|-------|
| 学部・学科 | 国際文化学部 キャリア創造学科 | |
| 区分 | 専門科目 専門科目 | |
| 科目名 | 北海道地方史 | |
| 第7回 | 場所請負人山田文右衛門の活動～松前藩による場所請負制の展開 | |
| | 担当教員 | 佐藤 麻莉 |
| 第8回 | 八王子千人同心の蝦夷地移住～第一次幕領期と近世後期の対外関係史 | |
| | 担当教員 | 佐藤 麻莉 |
| 第9回 | 幕末の勇払～第二次幕領期と幕末の対外関係史 | |
| | 担当教員 | 佐藤 麻莉 |
| 第10回 | 勇払から苫細へ～北海道開拓政策の展開 | |
| | 担当教員 | 佐藤 麻莉 |
| 第11回 | 苫小牧地方における輸送や労働力としての牛馬の役割 | |
| | 担当教員 | 武田 正哉 |
| 第12回 | マッチ製造業にみる木材資料の活用 | |
| | 担当教員 | 武田 正哉 |
| 第13回 | 王子製紙の進出による近代化と市街地の形成 | |
| | 担当教員 | 武田 正哉 |
| 第14回 | 流通の拠点としての苫小牧港の完成と街に与えた影響 | |
| | 担当教員 | 武田 正哉 |
| 第15回 | 苫小牧における文化・芸術・スポーツの興隆 | |
| | 担当教員 | 武田 正哉 |
| 成績評価の方法 | | |
| 期末レポートの提出 | | |
| 受講登録以前に準備すること | | |
| 5月20日(土) 苫小牧市美術博物館の見学(10名以下入館料300円、10名以上団体料金240円) | | |

2017 北洋大学

| | |
|----------------|-----------------|
| 学部・学科 | 国際文化学部 キャリア創造学科 |
| 区分 | 専門科目 専門科目 |
| 科目名 | 北海道地方史 |
| 授業の方法 | |
| 資料配付をもとにした講義形式 | |
| テキスト | |
| | |

2017 北洋大学

| | | | | | | | |
|--|------------------|-----------------|--|------|--|------|----|
| 2017 北洋大学 | | | | | | | |
| 学部・学科 | | 国際文化学部 キャリア創造学科 | | | | | |
| 区分 | | 専門科目 専門科目 | | | | | |
| 科目名 | | 卒業研究 | | | | | |
| 対象 | 4年 | 開講期 | | 開講学期 | 2023年春学期 | 履修要件 | 選択 |
| 種類 | 講義 | 時間数 | | 単位 | 4 | 授業回数 | 15 |
| クラス | | 教室 | | 担当教員 | 田中 尚樹、奥村 訓代、田中 利子、西藤 郁子、Ronald Kibler、福本 達也、西川 祥一、瀧波 慶信、山中 慎、福嶋 剛司、馮 一峰、藤田 航輝、陳 曦、岡田 昌 | | |
| 到達目標 | | | | | | | |
| ・学術的な研究を自らの手で行い、論文としてまとめることができるようになる。 | | | | | | | |
| 講義内容 | | | | | | | |
| 自らテーマを選び、指導教員と議論を重ねながら卒業論文を執筆する。また、執筆した卒業論文に基づいて口頭試問を行う。 | | | | | | | |
| 備考 | | | | | | | |
| この授業を履修する際には、指導教員(原則として「専門ゼミナール4」の担当教員)に申し出て内諾を取ること。また、担当教員から「卒業研究」受講承諾印またはサインをもらって履修登録すること。 | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 第1回 | 指導教員との協議により決定する。 | | | | | | |
| 第2回 | 指導教員との協議により決定する。 | | | | | | |
| 第3回 | 指導教員との協議により決定する。 | | | | | | |
| 第4回 | 指導教員との協議により決定する。 | | | | | | |
| 第5回 | 指導教員との協議により決定する。 | | | | | | |
| 第6回 | 指導教員との協議により決定する。 | | | | | | |

2017 北洋大学

| | |
|--|------------------|
| 学部・学科 | 国際文化学部 キャリア創造学科 |
| 区分 | 専門科目 専門科目 |
| 科目名 | 卒業研究 |
| 第7回 | 指導教員との協議により決定する。 |
| 第8回 | 指導教員との協議により決定する。 |
| 第9回 | 指導教員との協議により決定する。 |
| 第10回 | 指導教員との協議により決定する。 |
| 第11回 | 指導教員との協議により決定する。 |
| 第12回 | 指導教員との協議により決定する。 |
| 第13回 | 指導教員との協議により決定する。 |
| 第14回 | 指導教員との協議により決定する。 |
| 第15回 | 指導教員との協議により決定する。 |
| 成績評価の方法 | |
| 指導教員が個別に指示する。 | |
| 受講登録以前に準備すること | |
| この授業を履修する際には、指導教員(原則として「専門ゼミナール4」の担当教員)に申し出て内諾を取ること。また、担当教員から「卒業研究」受講承諾印またはサインをもらって履修登録すること。 | |

2017 北洋大学

| | |
|------------------|-----------------|
| 学部・学科 | 国際文化学部 キャリア創造学科 |
| 区分 | 専門科目 専門科目 |
| 科目名 | 卒業研究 |
| 授業の方法 | |
| 指導教員との協議により決定する。 | |
| テキスト | |
| | |

2021 北洋大学

| | | | | | | | |
|--|-----------------------|-----------------|--|------|----------|------|----|
| 2021 北洋大学 | | | | | | | |
| 学部・学科 | | 国際文化学部 キャリア創造学科 | | | | | |
| 区分 | | 演習科目 演習科目 | | | | | |
| 科目名 | | 専門ゼミナールⅢ(岡迫) | | | | | |
| 対象 | 3年、4年 | 開講期 | | 開講学期 | 2023年春学期 | 履修要件 | 必修 |
| 種類 | 演習 | 時間数 | | 単位 | 2 | 授業回数 | 15 |
| クラス | | 教室 | | 担当教員 | 岡迫 晃 | | |
| 到達目標 | | | | | | | |
| アメリカ映画の主要な流れと名作を鑑賞し知識として理解を深めていきます。。 | | | | | | | |
| 講義内容 | | | | | | | |
| アメリカ映画の主要作品を英語で紹介したテキストを読み、作品のテーマを考察し、感じたことを意見交換します。その上で作品から得たものをレポートにします。 | | | | | | | |
| 備考 | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 第1回 | Star Wars | | | | | | |
| 第2回 | Frozen | | | | | | |
| 第3回 | Toy Story | | | | | | |
| 第4回 | Harry Potter | | | | | | |
| 第5回 | The Lord of the Rings | | | | | | |
| 第6回 | Titanic | | | | | | |

2021 北洋大学

| | |
|---------------------------|--------------------------|
| 学部・学科 | 国際文化学部 キャリア創造学科 |
| 区分 | 演習科目 演習科目 |
| 科目名 | 専門ゼミナールⅢ(岡迫) |
| 第7回 | Stand by Me |
| 第8回 | Pirates of the Caribbean |
| 第9回 | E.T. |
| 第10回 | Back to the Future |
| 第11回 | Forrest Gump |
| 第12回 | Die Hard |
| 第13回 | The Dark Knight |
| 第14回 | Good Will Hunting |
| 第15回 | The Devil Wears Prada |
| 成績評価の方法 | |
| 毎回提出のレポートと授業参加度と態度で評価します。 | |
| 受講登録以前に準備すること | |
| テキスト、電子辞書(スマホ不可)、英和辞書 | |

2021 北洋大学

| | |
|---|-----------------|
| 学部・学科 | 国際文化学部 キャリア創造学科 |
| 区分 | 演習科目 演習科目 |
| 科目名 | 専門ゼミナールⅢ(岡迫) |
| 授業の方法 | |
| <p>このゼミは予習する必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テキストの英語を読んでおくこと。 ・事前に映画を鑑賞しておくこと。 <p>ゼミ中に作品に関する質疑応答をしながら自分の意見をまとめ最終的にレポートを提出します。</p> | |
| テキスト | |
| <p>Our time, Our Lives, Our Movies 英語で読むわたしたちの時代と社会 金星堂 2090円</p> | |

2017 北洋大学

| | | | | | | | |
|--|-----------------------|-----------------|--|------|----------|------|----|
| 2017 北洋大学 | | | | | | | |
| 学部・学科 | | 国際文化学部 キャリア創造学科 | | | | | |
| 区分 | | 演習科目 演習科目 | | | | | |
| 科目名 | | 専門ゼミナール3(岡迫) | | | | | |
| 対象 | 3年、4年 | 開講期 | | 開講学期 | 2023年春学期 | 履修要件 | 必修 |
| 種類 | 演習 | 時間数 | | 単位 | 1 | 授業回数 | 15 |
| クラス | | 教室 | | 担当教員 | 岡迫 晃 | | |
| 到達目標 | | | | | | | |
| アメリカ映画の主要な流れと名作を鑑賞し知識として理解を深めていきます。 | | | | | | | |
| 講義内容 | | | | | | | |
| アメリカ映画の主要作品を英語で紹介したテキストを読み、作品のテーマを考察し、感じたことを意見交換します。その上で作品から得たものをレポートにします。 | | | | | | | |
| 備考 | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 第1回 | Star Wars | | | | | | |
| 第2回 | Frozen | | | | | | |
| 第3回 | Toy Story | | | | | | |
| 第4回 | Harry Potter | | | | | | |
| 第5回 | The Lord of the Rings | | | | | | |
| 第6回 | Titanic | | | | | | |

2017 北洋大学

| | |
|--------------|--------------------------|
| 学部・学科 | 国際文化学部 キャリア創造学科 |
| 区分 | 演習科目 演習科目 |
| 科目名 | 専門ゼミナール3(岡迫) |
| 第7回 | Stand by Me |
| 第8回 | Pirates of the Caribbean |
| 第9回 | E.T. |
| 第10回 | Back to the Future |
| 第11回 | Forrest Gump |
| 第12回 | Die Hard |
| 第13回 | The Dark Knight |
| 第14回 | Good Will Hunting |
| 第15回 | The Devil Wears Prada |

成績評価の方法

毎回提出のレポートと授業参加度と態度で評価します。

受講登録以前に準備すること

テキスト、電子辞書(スマホ不可)又は英和辞書(紙)

2017 北洋大学

| | |
|---|-----------------|
| 学部・学科 | 国際文化学部 キャリア創造学科 |
| 区分 | 演習科目 演習科目 |
| 科目名 | 専門ゼミナール3(岡迫) |
| 授業の方法 | |
| <p>このゼミは予習する必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テキストの英語を読んでおくこと。 ・事前に映画を鑑賞しておくこと。 <p>ゼミ中に作品に関する質疑応答をしながら自分の意見をまとめ最終的にレポートを提出します。</p> | |
| テキスト | |
| <p>Our time, Our Lives, Our Movies 英語で読むわたしたちの時代と社会 金星堂 2090円</p> | |

2021 北洋大学

| | | | | | | | |
|--|--------------------------------------|-----------------|--|------|-------------|------|------|
| 2021 北洋大学 | | | | | | | |
| 学部・学科 | | 国際文化学部 キャリア創造学科 | | | | | |
| 区分 | | 実習科目 実習科目 | | | | | |
| 科目名 | | 実践型インターンシップ I | | | | | |
| 対象 | 2年、3年、4年 | 開講期 | | 開講学期 | 2023年春学期 | 履修要件 | 選択必修 |
| 種類 | 実習 | 時間数 | | 単位 | 2 | 授業回数 | 15 |
| クラス | | 教室 | | 担当教員 | 西川 祥一、福本 達也 | | |
| 到達目標 | | | | | | | |
| 2日から5日間のインターンシップ(就業体験)を通じて、働くことの目標を見つけ、自分の適正をみつけ、現場担当者とコミュニケーションが取れるようになります。1DAY職業体験は、認めません。 | | | | | | | |
| 講義内容 | | | | | | | |
| <p>自分の将来を考える動機づけとして、企業のリアルな活動現場を見ることが重要です。そのために、実際にインターンシップに参加するのが、本実習の目的です。本実習には「北洋大学の社会人学」を受講、或いは受講しているのが望ましい。</p> <p>受講生は、インターンシップの目的や意義を学んだあと、インターンシップ先の企業を捜します。受講生が自分で、インターンシップ先を見つけ、参加することが必要です。希望する業種・企業が決まっている学生は、企業に直接申し込みます。決まっていない学生は、就職支援サイトを使って、インターンシップ先を絞り込んでいきます。帰省中に実家の近くの企業のインターンシップに参加することも可です。</p> | | | | | | | |
| 備考 | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 第1回 | (4月6日予定) オリエンテーション(希望業種・企業についてアンケート) | | | | | | |
| 第2回 | (4月13日予定) インターンシップとは | | | | | | |
| 第3回 | (5月11日) 就職支援サイトによるインターンシップ企業の登録① | | | | | | |
| 第4回 | (5月18日) 就職支援サイトによるインターンシップ企業の登録② | | | | | | |
| 第5回 | | | | | | | |
| 第6回 | | | | | | | |

2021 北洋大学

| | |
|-------|-----------------|
| 学部・学科 | 国際文化学部 キャリア創造学科 |
| 区分 | 実習科目 実習科目 |
| 科目名 | 実践型インターンシップ I |
| 第7回 | |
| 第8回 | |
| 第9回 | |
| 第10回 | |
| 第11回 | |
| 第12回 | |
| 第13回 | |
| 第14回 | |
| 第15回 | |

成績評価の方法

インターンシップ受入先の評価(40%)、研修日誌の作成(30%)、研修レポートの内容(30%)によって総合的に評価します。インターンシップ先での研修を無断欠席した場合は受講停止となり単位認定はされません。

受講登録以前に準備すること

できるだけ事前に「北洋大学の社会人学」を受講して下さい。

2021 北洋大学

| | |
|---|-----------------|
| 学部・学科 | 国際文化学部 キャリア創造学科 |
| 区分 | 実習科目 実習科目 |
| 科目名 | 実践型インターンシップ I |
| 授業の方法 | |
| インターンシップに係る事前の講義を3回実施します。インターンシップ先が確定した学生にはインターンシップに対してどのような事柄に興味を持ち、どのような実務体験を希望しているか、文書で提出し確認します。業務日誌の作成と研修内容に関するレポートを、研修終了後に提出してもらいます。 | |
| テキスト | |
| オリジナルの資料を用意します。 | |

2017 北洋大学

| | | | | | | | |
|---|--------------------------------------|-----------------|--|------|-------------|------|------|
| 2017 北洋大学 | | | | | | | |
| 学部・学科 | | 国際文化学部 キャリア創造学科 | | | | | |
| 区分 | | 実習科目 実習科目 | | | | | |
| 科目名 | | インターンシップA | | | | | |
| 対象 | 2年、3年、4年 | 開講期 | | 開講学期 | 2023年春学期 | 履修要件 | 選択必修 |
| 種類 | 実習 | 時間数 | | 単位 | 2 | 授業回数 | 15 |
| クラス | | 教室 | | 担当教員 | 西川 祥一、福本 達也 | | |
| 到達目標 | | | | | | | |
| 2日から5日間のインターンシップ(就業体験)を通じて、働くことの目標を見つけ、自分の適正をみつけ、現場担当者とコミュニケーションが取れるようになります。1DAY職業体験は、認めません。 | | | | | | | |
| 講義内容 | | | | | | | |
| 自分の将来を考える動機づけとして、企業のリアルな活動現場を見ることが重要です。そのために、実際にインターンシップに参加するのが、本実習の目的です。本実習には「北洋大学の社会人学」を受講、或いは受講しているのが望ましい。受講生は、インターンシップの目的や意義を学んだあと、インターンシップ先の企業を捜します。受講生が自分で、インターンシップ先を見つけ、参加することが必要です。希望する業種・企業が決まっている学生は、企業に直接申し込みます。決まっていない学生は、就職支援サイトを使って、インターンシップ先を絞り込んでいきます。帰省中に実家の近くの企業のインターンシップに参加することも可です。 | | | | | | | |
| 備考 | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 第1回 | (4月6日予定) オリエンテーション(希望業種・企業についてアンケート) | | | | | | |
| 第2回 | (4月13日予定) インターンシップとは | | | | | | |
| 第3回 | (5月11日) 就職支援サイトによるインターンシップ企業の登録① | | | | | | |
| 第4回 | (5月18日) 就職支援サイトによるインターンシップ企業の登録② | | | | | | |
| 第5回 | | | | | | | |
| 第6回 | | | | | | | |

2017 北洋大学

| | |
|-------|-----------------|
| 学部・学科 | 国際文化学部 キャリア創造学科 |
| 区分 | 実習科目 実習科目 |
| 科目名 | インターンシップA |
| 第7回 | |
| 第8回 | |
| 第9回 | |
| 第10回 | |
| 第11回 | |
| 第12回 | |
| 第13回 | |
| 第14回 | |
| 第15回 | |

成績評価の方法

インターンシップ受入先の評価(40%)、研修日誌の作成(30%)、研修レポートの内容(30%)によって総合的に評価します。インターンシップ先での研修を無断欠席した場合は受講停止となり単位認定はされません。

受講登録以前に準備すること

できるだけ事前に「北洋大学の社会人学」を受講して下さい。

2017 北洋大学

| | |
|---|-----------------|
| 学部・学科 | 国際文化学部 キャリア創造学科 |
| 区分 | 実習科目 実習科目 |
| 科目名 | インターンシップA |
| 授業の方法 | |
| インターンシップに係る事前の講義を3回実施します。インターンシップ先が確定した学生にはインターンシップに対してどのような事柄に興味を持ち、どのような実務体験を希望しているか、文書で提出し確認します。業務日誌の作成と研修内容に関するレポートを、研修終了後に提出してもらいます。 | |
| テキスト | |
| オリジナルの資料を用意します。 | |

2017 北洋大学

| | | | | | | | |
|---|------------------------------------|-----------------|--|------|----------|------|----|
| 2017 北洋大学 | | | | | | | |
| 学部・学科 | | 国際文化学部 キャリア創造学科 | | | | | |
| 区分 | | 関連科目 関連科目 | | | | | |
| 科目名 | | 総合講座A | | | | | |
| 対象 | 2年、3年、4年 | 開講期 | | 開講学期 | 2023年春学期 | 履修要件 | 選択 |
| 種類 | 講義 | 時間数 | | 単位 | 2 | 授業回数 | 15 |
| クラス | | 教室 | | 担当教員 | 福本 達也 | | |
| 到達目標 | | | | | | | |
| <p>上級(C2)レベルの日本語文法や表現を使ってビジネス関係の日本語コミュニケーションができる。 日本の職場で働く上で必要なマナーについて理解できる。 実際的な日本の会社での生きたビジネス表現やマナーを習得し活用できる。</p> | | | | | | | |
| 講義内容 | | | | | | | |
| <p>主に上級程度の実力のある留学生を対象とし、上級の日本語文法や表現を用いてビジネス場面で必要なマナーについて学び理解して活用できるようにする。また、ビジネス場面で必要な日本語の表現を練習する。 教師と学生間、学生同士でロールプレイや質疑応答などを通して、ビジネス場面でのマナーや会話表現を練習する。</p> | | | | | | | |
| 備考 | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 第1回 | ガイダンス 日本のビジネスマナーについて | | | | | | |
| 第2回 | 日本での社会人としての基本(1) 身だしなみ、あいさつ、言葉使い | | | | | | |
| 第3回 | 日本での社会人としての基本(2) 社内のルール | | | | | | |
| 第4回 | 日本の職場の電話のマナー(1) 電話のかけ方、伝言の依頼 | | | | | | |
| 第5回 | 日本の職場の電話のマナー(2) 電話の受け方、伝言を受ける | | | | | | |
| 第6回 | 日本の職場の電話のマナー(3) 様々な電話への対応、携帯電話のマナー | | | | | | |

2017 北洋大学

| | |
|--|---|
| 学部・学科 | 国際文化学部 キャリア創造学科 |
| 区分 | 関連科目 関連科目 |
| 科目名 | 総合講座A |
| 第7回 | 日本の職場での来客時のマナー(1) 来客への応対、会議室・応接室への案内 |
| 第8回 | 日本の職場での来客時のマナー(2) 訪問客を(長く)待たせた時の対応、お茶の出し方 |
| 第9回 | 日本の他社訪問時のマナー(1) アポイントを取る、会社訪問 |
| 第10回 | 日本の他社訪問時のマナー(2) 訪問時のあいさつ、名刺交換 |
| 第11回 | 日本の他社訪問時のマナー(3) 打ち合わせ、商談 |
| 第12回 | 日本でのビジネスの基本(1) 指示の受け方、報連相(報告・連絡・相談) |
| 第13回 | 日本でのビジネスの基本(2) 会議でのマナー、お詫びとお礼の仕方 |
| 第14回 | メールのマナー、ファックスのマナーについて、様々な文書のマナー |
| 第15回 | 総復習 |
| 成績評価の方法 | |
| 出席、授業への参画度(40%) 課題、作業(30%) 期末試験、期末課題(30%) などにより、総合的に評価する。 | |
| 受講登録以前に準備すること | |
| 日本語のレベルがC1以上が望ましい。 | |

2017 北洋大学

| | |
|---|-----------------|
| 学部・学科 | 国際文化学部 キャリア創造学科 |
| 区分 | 関連科目 関連科目 |
| 科目名 | 総合講座A |
| 授業の方法 | |
| <p>毎回日本のビジネスマナーについて説明し日本のビジネスマナーについて理解させ、課題を与え答えさせる。その後、質疑応答やロールプレイなどの方法で学生に日本のビジネスマナーについて練習させ、ビジネス場面・マナーに関連する日本語の表現を練習させる。</p> | |
| テキスト | |
| <p>主教材:岩澤みどり、海老原恭子『改訂新版 日本企業への就職 ビジネスマナーと基本のことば』(株)アスク出版、2009年 参考文献:武田聡子、長崎清美『改訂版 留学生・日本で働く人のためのビジネスマナーとルール』日本能率協会マネジメントセンター、2023年 学校法人長沼スクール東京日本語学校編『伸ばす！就活能力・ビジネス日本語力 日本で働くための「4つの能力」養成ワークブック』国書刊行会、2018年</p> | |

2021 北洋大学

| | | | | | | | |
|---|---|-----------------------|--|------|----------|------|----|
| 2021 北洋大学 | | | | | | | |
| 学部・学科 | | 国際文化学部 キャリア創造学科 | | | | | |
| 区分 | | 学芸員(令和3(2021)年以降) 学芸員 | | | | | |
| 科目名 | | 博物館情報・メディア論 | | | | | |
| 対象 | 全学年 | 開講期 | | 開講学期 | 2023年春学期 | 履修要件 | 必修 |
| 種類 | 講義 | 時間数 | | 単位 | 2 | 授業回数 | 15 |
| クラス | | 教室 | | 担当教員 | 劉 高力 | | |
| 到達目標 | | | | | | | |
| <p>博物館における情報・メディアの意義・位置・多様性を把握する。 博物館で活用可能な情報通信技術ICT(Information and Communication Technology)の状況把握、収蔵資料のデジタル化、バーチャル展示について学ぶ 展示・広報を含む多様な博物館の情報発信を理解する。 課題、知的財産権等についての基礎的知識を得る。</p> | | | | | | | |
| 講義内容 | | | | | | | |
| <p>博物館の展示、資料保存、発信には、メディアが欠かせない。 博物館情報・メディアとは何か、その基本知識と実践の運用について学ぶ。 講義と実際の見学を行い、学芸員としての基本的な知識を身につける。</p> | | | | | | | |
| 備考 | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 第1回 | 講義全体の紹介「博物館情報・メディア論」の説明等。 | | | | | | |
| 第2回 | 博物館における情報・メディアの理論、意義、博物館活動の情報化(視聴覚メディアの理論と歴史、調査研究、展示・教育活動等) 博物館における情報発信と機器の紹介、映像理論、博物館メディアの役割 | | | | | | |
| 第3回 | 博物館における情報・メディアの理論、意義、博物館活動の情報化(視聴覚メディアの理論と歴史、調査研究、展示・教育活動等) 博物館における情報発信と機器の紹介、映像理論、博物館メディアの役割 | | | | | | |
| 第4回 | 映像博物館見学、現地で映像機器を触ってみる。映像発信の沿革を受講。 | | | | | | |
| 第5回 | 映像博物館見学、現地で映像機器を触ってみる。映像発信の沿革を受講。 | | | | | | |
| 第6回 | 映像博物館見学、現地で映像機器を触ってみる。映像発信の沿革を受講。 | | | | | | |

2021 北洋大学

| | |
|---------------------------|---|
| 学部・学科 | 国際文化学部 キャリア創造学科 |
| 区分 | 学芸員(令和3(2021)年以降) 学芸員 |
| 科目名 | 博物館情報・メディア論 |
| 第7回 | 映像博物館見学、現地で映像機器に触ってみる。映像発信の沿革を受講。 |
| 第8回 | ICT社会の中の博物館、資料のアーカイブズ・デジタルアーカイブ、情報機器の活用、バーチャル博物館など新たなメディア経験技術、博物館と知的財産。著作権、二次利用等。 |
| 第9回 | ICT社会の中の博物館、資料のアーカイブズ・デジタルアーカイブ、情報機器の活用、バーチャル博物館など新たなメディア経験技術、博物館と知的財産。著作権、二次利用等。 |
| 第10回 | ICT社会の中の博物館、資料のアーカイブズ・デジタルアーカイブ、情報機器の活用、バーチャル博物館など新たなメディア経験技術、博物館と知的財産。著作権、二次利用等。 |
| 第11回 | 新たなメディアを運用する博物館での見学、博物館研究者の話を聴きながら、デジタル技術を用いた資料展示、実際の博物館活動の中で遭遇する著作権に関する事柄を学ぶ。 |
| 第12回 | 新たなメディアを運用する博物館での見学、博物館研究者の話を聴きながら、デジタル技術を用いた資料展示、実際の博物館活動の中で遭遇する著作権に関する事柄を学ぶ。 |
| 第13回 | 新たなメディアを運用する博物館での見学、博物館研究者の話を聴きながら、デジタル技術を用いた資料展示、実際の博物館活動の中で遭遇する著作権に関する事柄を学ぶ。 |
| 第14回 | 新たなメディアを運用する博物館での見学、博物館研究者の話を聴きながら、デジタル技術を用いた資料展示、実際の博物館活動の中で遭遇する著作権に関する事柄を学ぶ。 |
| 第15回 | 新たなメディアを運用する博物館での見学、博物館研究者の話を聴きながら、デジタル技術を用いた資料展示、実際の博物館活動の中で遭遇する著作権に関する事柄を学ぶ。 |
| 成績評価の方法 | |
| 授業内の参加度(40%)期末テスト小論文(60%) | |
| 受講登録以前に準備すること | |
| | |

2021 北洋大学

| | |
|-------------|-----------------------|
| 学部・学科 | 国際文化学部 キャリア創造学科 |
| 区分 | 学芸員(令和3(2021)年以降) 学芸員 |
| 科目名 | 博物館情報・メディア論 |
| 授業の方法 | |
| 講義と見学が同時に行う | |
| テキスト | |
| | |

2017 北洋大学

| | | | | | | | |
|--|---|-----------------|--|------|----------|------|----|
| 2017 北洋大学 | | | | | | | |
| 学部・学科 | | 国際文化学部 キャリア創造学科 | | | | | |
| 区分 | | 関連科目 関連科目 | | | | | |
| 科目名 | | 総合英語B | | | | | |
| 対象 | 2年、3年、4年 | 開講期 | | 開講学期 | 2023年春学期 | 履修要件 | 選択 |
| 種類 | 講義 | 時間数 | | 単位 | 2 | 授業回数 | 15 |
| クラス | | 教室 | | 担当教員 | 岡迫 晃 | | |
| 到達目標 | | | | | | | |
| 日本文化を簡単な英語で伝える力を身につけることを目標とします。 | | | | | | | |
| 講義内容 | | | | | | | |
| 日本人の様々な生活習慣・食文化・行事等が平易な英語で解説されているテキストを使います。(結果的に英語で)そして自分のことは勿論日本について英語で発信できる力を養います。 | | | | | | | |
| 備考 | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 第1回 | Starter: Reflection & Goal Setting 日本のことを英語で伝えるために | | | | | | |
| 第2回 | Greetings and Manners 日本式挨拶とマナー | | | | | | |
| 第3回 | Seasonal Events in Japan 日本の季節と行事 | | | | | | |
| 第4回 | Popular school Events 人気のある学校行事 | | | | | | |
| 第5回 | Eating in Japan バラエティに富む日本の食事 | | | | | | |
| 第6回 | Sightseeing 日本の忍者は大人気 | | | | | | |

2017 北洋大学

| | |
|--|--|
| 学部・学科 | 国際文化学部 キャリア創造学科 |
| 区分 | 関連科目 関連科目 |
| 科目名 | 総合英語B |
| 第7回 | Ancient Agriculture 伝統に根ざした日本の農業 |
| 第8回 | Politics 日本の政治の仕組み |
| 第9回 | Economy 時代を映す日本経済 |
| 第10回 | Sports 大会を盛り上げるサポートー |
| 第11回 | Changes in Japanese sports 日本人が好きなスポーツ |
| 第12回 | Favorite Places to Visit お薦め観光地 |
| 第13回 | Japanese Cooking 日本食は「うまみ」が決めて |
| 第14回 | Japanized Foreign Culture 日本化した外国文化 |
| 第15回 | Project: Treasures of Japan 日本の宝物を紹介しよう |
| 成績評価の方法 | |
| 授業内での参加度、予習状況 30% 小テスト 20% 筆記試験 50% の総合的判断で評価します。 | |
| 受講登録以前に準備すること | |
| テキスト、電子辞書(スマホ不可)又は英和辞書 | |

2017 北洋大学

| | |
|--|-----------------|
| 学部・学科 | 国際文化学部 キャリア創造学科 |
| 区分 | 関連科目 関連科目 |
| 科目名 | 総合英語B |
| 授業の方法 | |
| この授業は予習を必要とします。 毎時間各章の文法項目に焦点を当てた和文英訳リスニング。英問英答式のリスニング。日本文化について尋ねられた時に応答する練習を行います。また毎回小テストも実施します。 | |
| テキスト | |
| Real-time Japan in Basic English 朝日出版 1870円 | |

2021 北洋大学

| | | | | | | | |
|-----------|-------|-----------------|--|------|----------|------|------|
| 2021 北洋大学 | | | | | | | |
| 学部・学科 | | 国際文化学部 キャリア創造学科 | | | | | |
| 区分 | | 日本語教師 日本語教師 | | | | | |
| 科目名 | | 日本語教育実習 I | | | | | |
| 対象 | 3年、4年 | 開講期 | | 開講学期 | 2023年春学期 | 履修要件 | 選択必修 |
| 種類 | 講義 | 時間数 | | 単位 | 2 | 授業回数 | 30 |
| クラス | | 教室 | | 担当教員 | 藤田 航輝 | | |

到達目標

- ①日本語の授業の教案を作成できる。
- ②作成した教案に従って適切な授業を行うことができる。
- ③自身の授業を振り返り、分析し、報告することができる。

講義内容

基本的に「教案の作成→模擬授業→自己評価」のサイクルで実践的な授業を行います。受講生のペースに合わせてしますので、第2回以降の授業内容については特に定めません。なお、期末レポートの代わりとして実習報告レポートの提出を最終課題とします。受講者は、全30回のうちのどこかのタイミングで(主に秋学期を想定)「必ず」実習を行っていただきます。実習の計画は綿密に立て、また本番に備えて模擬形式で経験を積みましょう。

備考

授業計画

| | |
|-----|-------|
| 第1回 | ガイダンス |
| 第2回 | |
| 第3回 | |
| 第4回 | |
| 第5回 | |
| 第6回 | |

2021 北洋大学

| 学部・学科 | 国際文化学部 キャリア創造学科 |
|-------|-----------------|
| 区分 | 日本語教師 日本語教師 |
| 科目名 | 日本語教育実習 I |
| 第7回 | |
| 第8回 | |
| 第9回 | |
| 第10回 | |
| 第11回 | |
| 第12回 | |
| 第13回 | |
| 第14回 | |
| 第15回 | |
| 第16回 | |
| 第17回 | |

2021 北洋大学

| 学部・学科 | 国際文化学部 キャリア創造学科 |
|-------|-----------------|
| 区分 | 日本語教師 日本語教師 |
| 科目名 | 日本語教育実習 I |
| 第18回 | |
| 第19回 | |
| 第20回 | |
| 第21回 | |
| 第22回 | |
| 第23回 | |
| 第24回 | |
| 第25回 | |
| 第26回 | |
| 第27回 | |
| 第28回 | |

2021 北洋大学

| | |
|---|------------------|
| 学部・学科 | 国際文化学部 キャリア創造学科 |
| 区分 | 日本語教師 日本語教師 |
| 科目名 | 日本語教育実習 I |
| 第29回 | |
| 第30回 | 授業の総まとめ、一年間の自己評価 |
| 成績評価の方法 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・授業への参加態度(20%) ・授業で行う活動(30%) ・実習報告レポート(50%) <p>以上3点から、総合的に評価します。</p> | |
| 受講登録以前に準備すること | |
| 日本語教授法 I、II を履修してください。 | |
| 授業の方法 | |
| <p>基本的に演習方式です。 授業で扱う内容に関する議論や授業づくりの際の協働作業が活発にみられることを期待します。 実習後、レポートとは別に一度授業内で報告してもらいます。その際は授業のようすも参照しますので、必ず記録を取ってください。 ビデオカメラは貸し出します。</p> | |
| テキスト | |
| <p>特に指定しません。 参考文献等はその都度提示します。</p> | |

2021 北洋大学

| | | | | | | | |
|-------------------------------------|----------------------------------|-----------------|--|------|----------|------|------|
| 2021 北洋大学 | | | | | | | |
| 学部・学科 | | 国際文化学部 キャリア創造学科 | | | | | |
| 区分 | | 日本語教師 日本語教師 | | | | | |
| 科目名 | | 日本語教育実習Ⅱ | | | | | |
| 対象 | 3年、4年 | 開講期 | | 開講学期 | 2023年春学期 | 履修要件 | 選択必修 |
| 種類 | 講義 | 時間数 | | 単位 | 2 | 授業回数 | 30 |
| クラス | | 教室 | | 担当教員 | 奥村 訓代 | | |
| 到達目標 | | | | | | | |
| 海外の環境下で、日本語指導を体験する。 | | | | | | | |
| 講義内容 | | | | | | | |
| 事前学習と本番、事後学習からなる。 | | | | | | | |
| 備考 | | | | | | | |
| パスポート、研修費用が別途必要 夏休み1週間程度の集中講義となる | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| 第1回 | 4月のオリエンテーション | | | | | | |
| 第2回 | 8月の事前学習会1 (訪問国の言語や文化習慣の基礎を学ぶ) | | | | | | |
| 第3回 | 同上2 | | | | | | |
| 第4回 | 同上3 | | | | | | |
| 第5回 | 現地実習(5回目から28回目) | | | | | | |
| 第6回 | 同上 | | | | | | |

2021 北洋大学

| 学部・学科 | | 国際文化学部 キャリア創造学科 |
|-------|----|-----------------|
| 区分 | | 日本語教師 日本語教師 |
| 科目名 | | 日本語教育実習Ⅱ |
| 第7回 | 同上 | |
| 第8回 | 同上 | |
| 第9回 | 同上 | |
| 第10回 | 同上 | |
| 第11回 | 同上 | |
| 第12回 | 同上 | |
| 第13回 | 同上 | |
| 第14回 | 同上 | |
| 第15回 | 同上 | |
| 第16回 | 同上 | |
| 第17回 | 同上 | |

2021 北洋大学

| 学部・学科 | | 国際文化学部 キャリア創造学科 |
|-------|----|-----------------|
| 区分 | | 日本語教師 日本語教師 |
| 科目名 | | 日本語教育実習Ⅱ |
| 第18回 | 同上 | |
| 第19回 | 同上 | |
| 第20回 | 同上 | |
| 第21回 | 同上 | |
| 第22回 | 同上 | |
| 第23回 | 同上 | |
| 第24回 | 同上 | |
| 第25回 | 同上 | |
| 第26回 | 同上 | |
| 第27回 | 同上 | |
| 第28回 | 同上 | |

2021 北洋大学

| | |
|---|------------------------|
| 学部・学科 | 国際文化学部 キャリア創造学科 |
| 区分 | 日本語教師 日本語教師 |
| 科目名 | 日本語教育実習Ⅱ |
| 第29回 | 事後学習としてのまとめ1 (DVD作成予定) |
| 第30回 | 事後学習としてのまとめ2 (DVD作成予定) |
| 成績評価の方法 | |
| オリエンテーション 申込書類配布、スケジュールや内容に関する紹介など | |
| 受講登録以前に準備すること | |
| 日本語に関する授業をすでに受講している、あるいは今学期並行して受講していることが望ましい。 | |
| 授業の方法 | |
| 講義、実習、発表など総合的に行う | |
| テキスト | |
| 特になし(コピー予定) 必要に応じて指定する | |